

IV 調査結果の分析

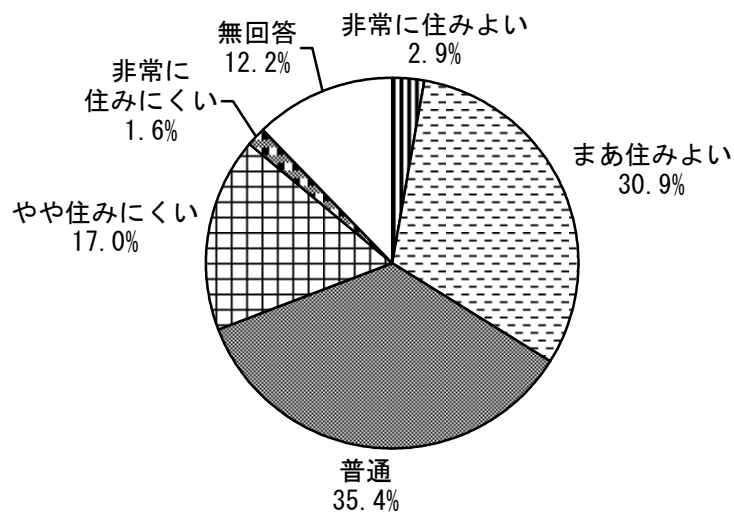
1. 住みごちと定住意識について

(1) 住みごち

“住みよい” が約3割

問1 あなたにとって、現在の三郷市の住みごちはいかがですか。(1つに○)

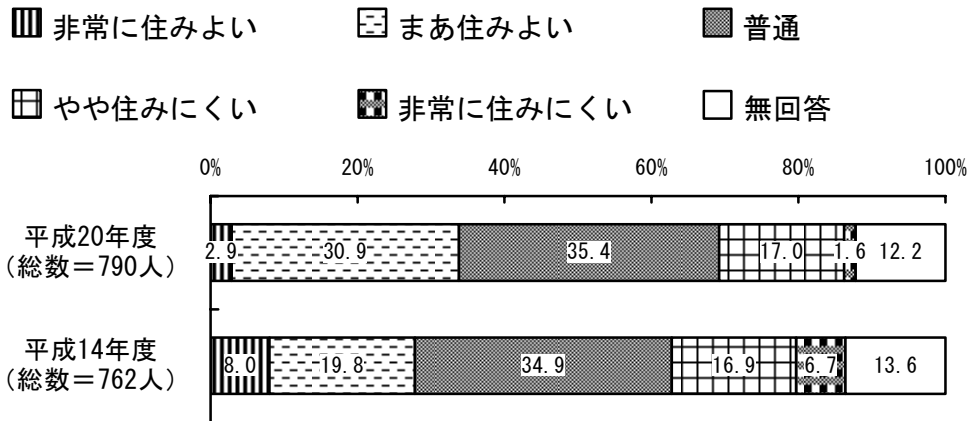
回答者総数=790人



現在の三郷市の住みごちをたずねたところ、「非常に住みよい」が2.9%、「まあ住みよい」が30.9%となっており、これらを合わせると33.8%が“住みよい”としています。一方、「やや住みにくい」は17.0%、「非常に住みにくい」は1.6%で、これらを合わせると18.6%が“住みにくい”としています。また、「普通」と回答した人は35.4%になっています。

住みごちについて、平成14年度の調査結果と比較してみました。その結果、「非常に住みよい」と「まあ住みよい」を合わせた“住みよい”という割合は、平成14年度は27.8%でしたが、平成20年度には33.8%になり6ポイント増加しています。

【時系列】

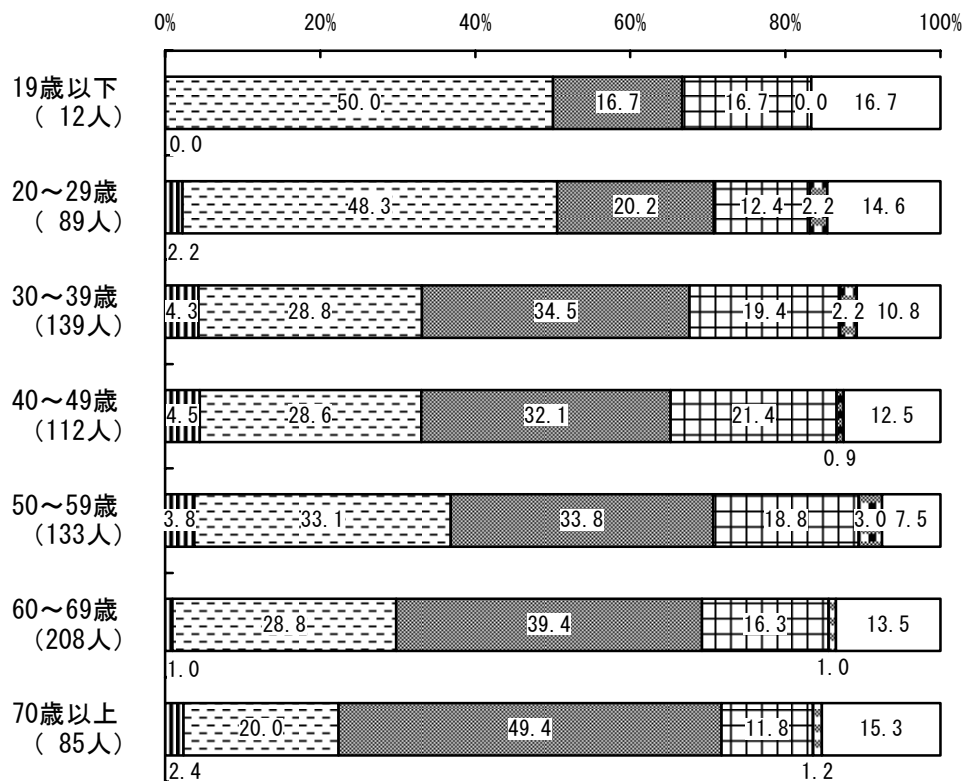


注) 平成14年度の選択肢を、「住みよい」→「非常に住みよい」、「住みにくい」→「非常に住みにくい」として比較している。

年齢別にみると、19歳以下や20～29歳といった若い年代で「まあ住みよい」が約半数を占めて多くなっています。30～39歳、40～49歳、50～59歳では「まあ住みよい」が約3割、「やや住みにくい」が約2割といった割合となっています。また、30～39歳より上の年代では「普通」という回答が多く、70歳以上では49.4%と約半数となっています。

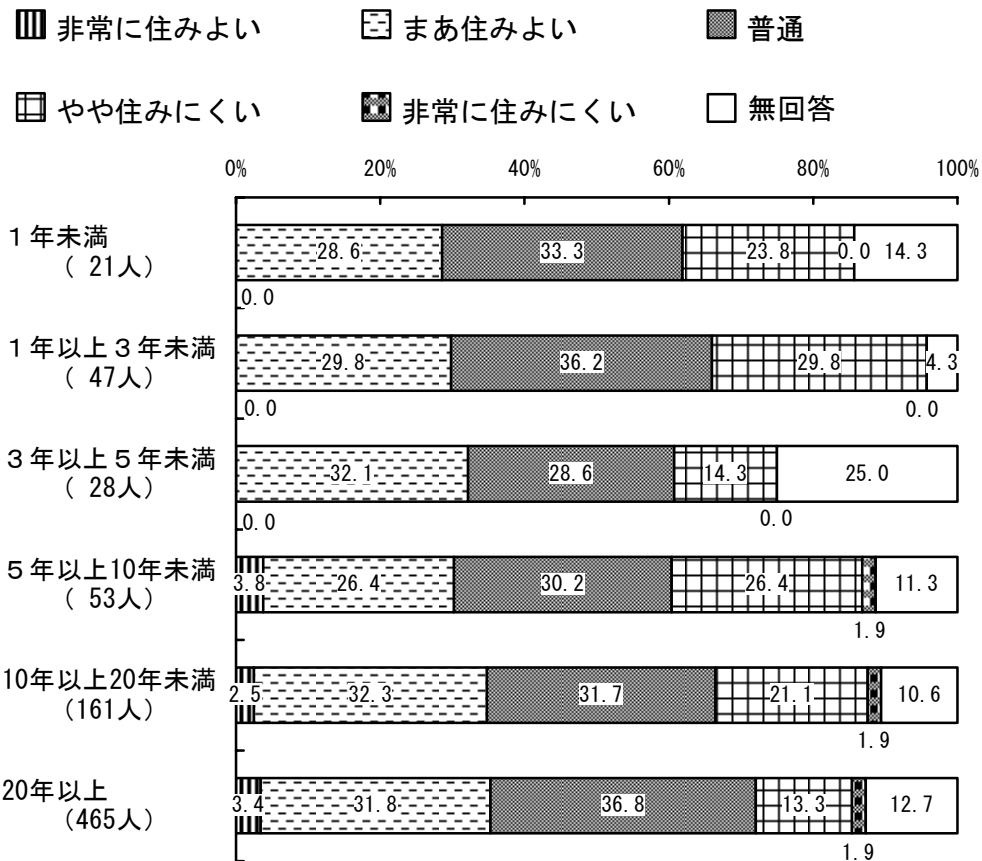
【年齢別】

■■■ 非常に住みよい ■■■■ まあ住みよい ■■■ 普通
 ■■■■ やや住みにくい ■■■■ 非常に住みにくい □ 無回答



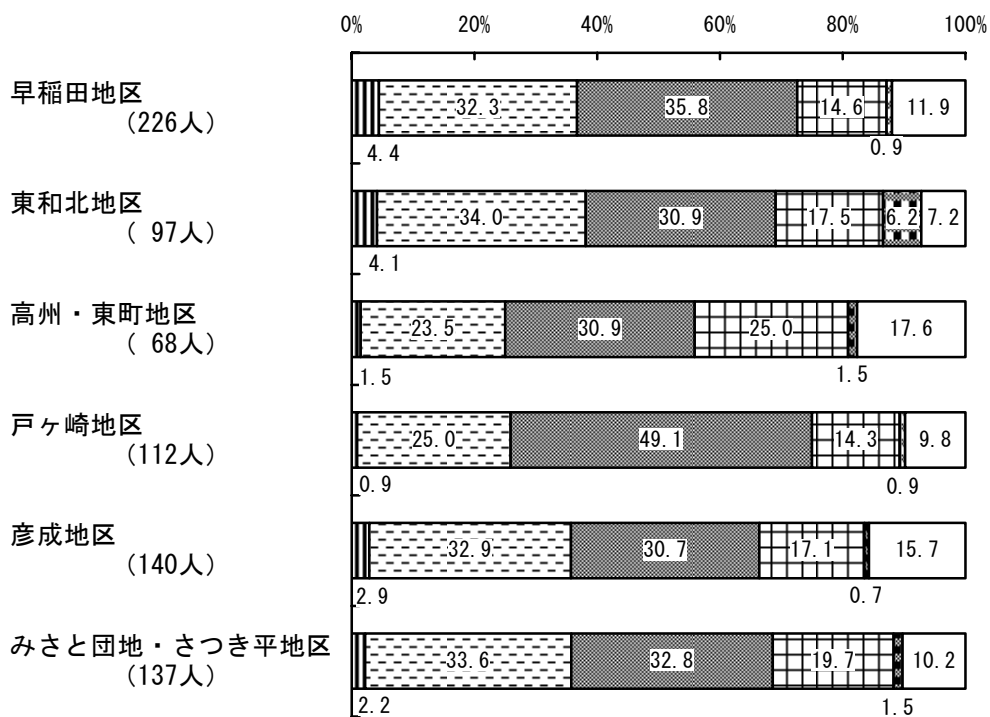
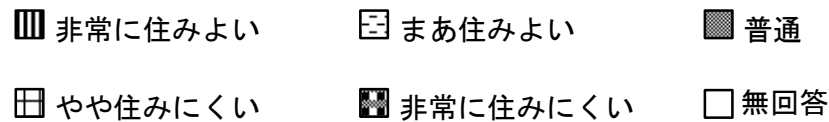
居住年数別にみると、どの層でも「まあ住みよい」が約3割を占めています。また、1年以上3年未満では、「普通」が4割近くと多くなっていますが、「やや住みにくい」も約3割を占めており、「住みにくい」という割合が最も多い層となっています。

【居住年数別】



地区別にみると、早稲田地区、東和北地区、彦成地区、みさと団地・さつき平地区では、「まあ住みよい」が約3割を占めています。戸ヶ崎地区では、「普通」が49.1%で約半数を占めており、他の地区より多くなっています。

【地区別】



(2) 生活環境評価

①生活環境

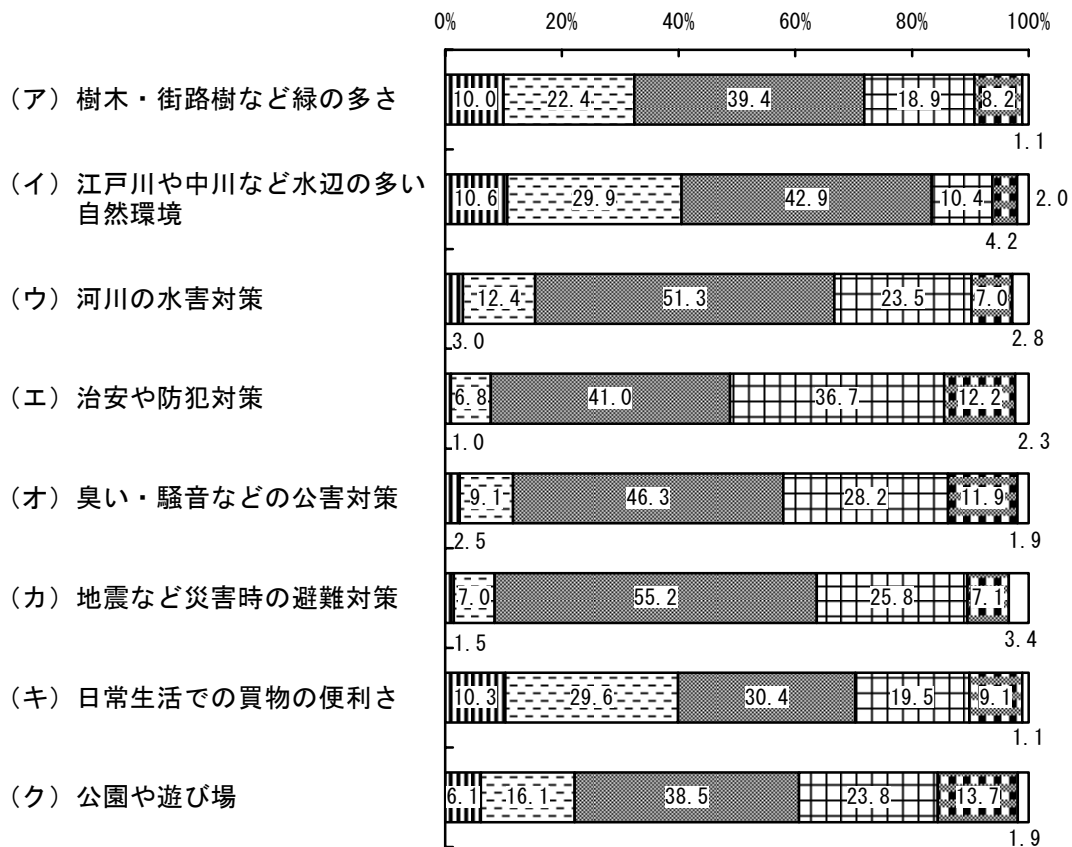
『緑の多さ』や『水辺の自然環境』、『買物の便利さ』で満足度が高い

問2 あなたの地域の生活環境などについて、どのようにお感じになりますか。(それぞれ1つずつに○)

回答者総数=790人

満足している
 まあまあ満足
 普通

やや不満
 不満である
 無回答



生活環境に関することについて、項目ごとに満足度をたずねました。その結果、どの項目でも「普通」という割合が多くなっています。「満足している」と「まあまあ満足」を合わせた割合が3割を超えたのは、『樹木・街路樹など緑の多さ』や『江戸川や中川など水辺の多い自然環境』、『日常生活での買物の便利さ』といった項目です。一方、『治安や防犯対策』については、「やや不満」と「不満である」を合わせた割合が約5割を占めています。

満足度の回答を点数化し、地区別に加重平均値を求めました。その結果、『樹木・街路樹など緑の多さ』については、早稲田地区や高州・東町地区、みさと団地・さつき平地区では評価が高くなっていますが、東和北地区や戸ヶ崎地区、彦成地区では低い評価となっています。また、『日常生活での買物の便利さ』については、戸ヶ崎地区やみさと団地・さつき平地区などでは高い評価となっていますが、東和北地区と高州・東町地区では低い評価となっています。さらに、『公園や遊び場』では、東和北地区や戸ヶ崎地区、彦成地区などで低い評価となっていますが、早稲田地区や高州・東町地区、みさと団地・さつき平地区では評価が高くなっています。

【加重平均値 地区別】

区 分	(点)						
	全体	早稲田地区	東和北地区	高州・東町地区	戸ヶ崎地区	彦成地区	みさと団地・さつき平地区
(ア) 樹木・街路樹など緑の多さ	0.07	0.18	-0.21	0.34	-0.10	-0.17	0.35
(イ) 江戸川や中川など水辺の多い自然環境	0.33	0.45	0.24	0.57	0.18	0.17	0.40
(ウ) 河川の水害対策	-0.20	-0.05	-0.08	-0.34	-0.35	-0.30	-0.24
(エ) 治安や防犯対策	-0.53	-0.63	-0.51	-0.48	-0.48	-0.48	-0.53
(オ) 臭い・騒音などの公害対策	-0.39	-0.42	-0.45	-0.33	-0.25	-0.47	-0.32
(カ) 地震など災害時の避難対策	-0.31	-0.29	-0.36	-0.32	-0.37	-0.34	-0.23
(キ) 日常生活での買物の便利さ	0.13	0.16	-0.50	-0.19	0.44	0.05	0.50
(ク) 公園や遊び場	-0.23	0.07	-0.77	0.31	-0.55	-0.62	0.04

②都市基盤

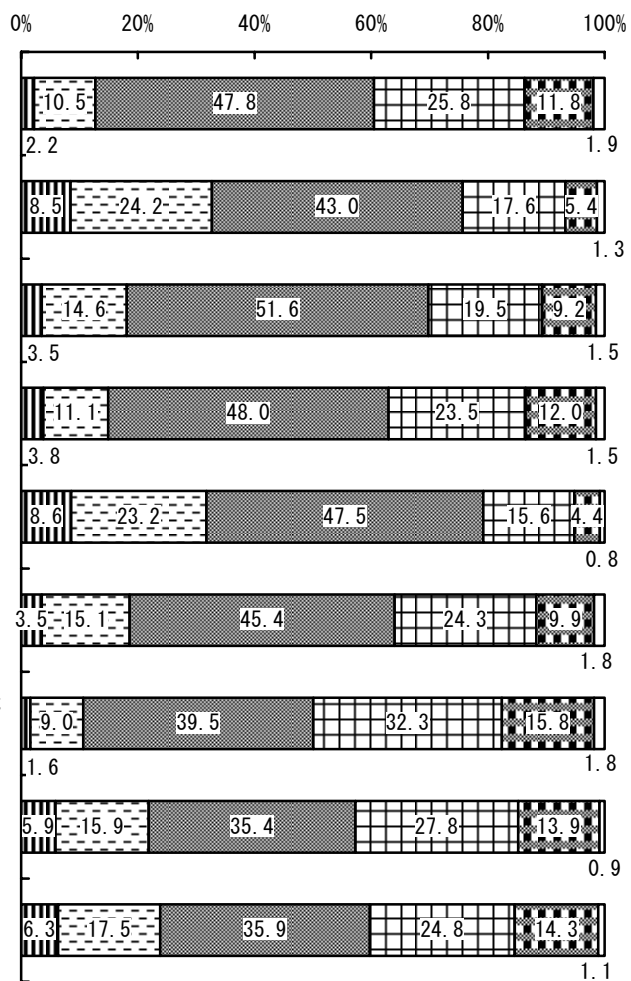
『住環境』と『ごみの収集方法』で満足度が高い

問2 あなたの地域の生活環境などについて、どのように感じになりますか。(それぞれ1つずつに○)

回答者総数=790人

満足している
 まあまあ満足
 普通

やや不満
 不満である
 無回答



都市基盤に関することについて、項目ごとに満足度をたずねました。その結果、どの項目でも「普通」という割合が最も多くなっています。「満足している」と「まあまあ満足」を合わせた割合が3割を超えたのは、『日当たり・風通し・静けさなどの住環境』と『ごみの収集方法』といった項目です。一方、『歩道・ガードレール・信号等道路の安全対策』については、「やや不満」と「不満である」を合わせた割合が約5割となっています。

満足度の回答を点数化し、地区別に加重平均値を求めました。その結果、『日当たり・風通し・静けさなどの住環境』については、東和北地区で評価が低くなっていますが、それ以外の地区では評価は高くなっています。また、『水道水のおいしさ・安全性』と『バス交通の利便性』については、高州・東町地区では評価が高くなっています。さらに、東和北地区では『鉄道交通の利便性』が0.00点で、他の地区より評価が高くなっています。

【加重平均値 地区別】

区 分	(点)						
	全体	早稲田地区	東和北地区	高州・東町地区	戸ヶ崎地区	彦成地区	みさと団地・さつき平地区
(ケ) まちの美観や周囲の景観	-0.35	-0.27	-0.57	-0.26	-0.34	-0.42	-0.31
(コ) 日当たり・風通し・静けさなどの住環境	0.13	0.13	-0.09	0.16	0.21	0.07	0.28
(サ) 水道水のおいしさ・安全性	-0.17	-0.25	-0.11	0.16	-0.06	-0.24	-0.22
(シ) 下水・排水の処理対策	-0.29	-0.17	-0.47	-0.81	-0.27	-0.37	-0.02
(ス) ごみの収集方法	0.16	0.16	0.01	0.26	0.11	0.10	0.32
(セ) 道路網の利便性	-0.22	-0.16	-0.16	-0.04	-0.28	-0.30	-0.33
(ソ) 歩道・ガードレール・信号等道路の安全対策	-0.53	-0.40	-0.68	-0.54	-0.60	-0.51	-0.54
(タ) 鉄道交通の利便性	-0.28	-0.09	0.00	-0.68	-0.68	-0.21	-0.31
(チ) バス交通の利便性	-0.24	-0.23	-0.36	0.07	-0.18	-0.28	-0.29

③保健・医療・福祉

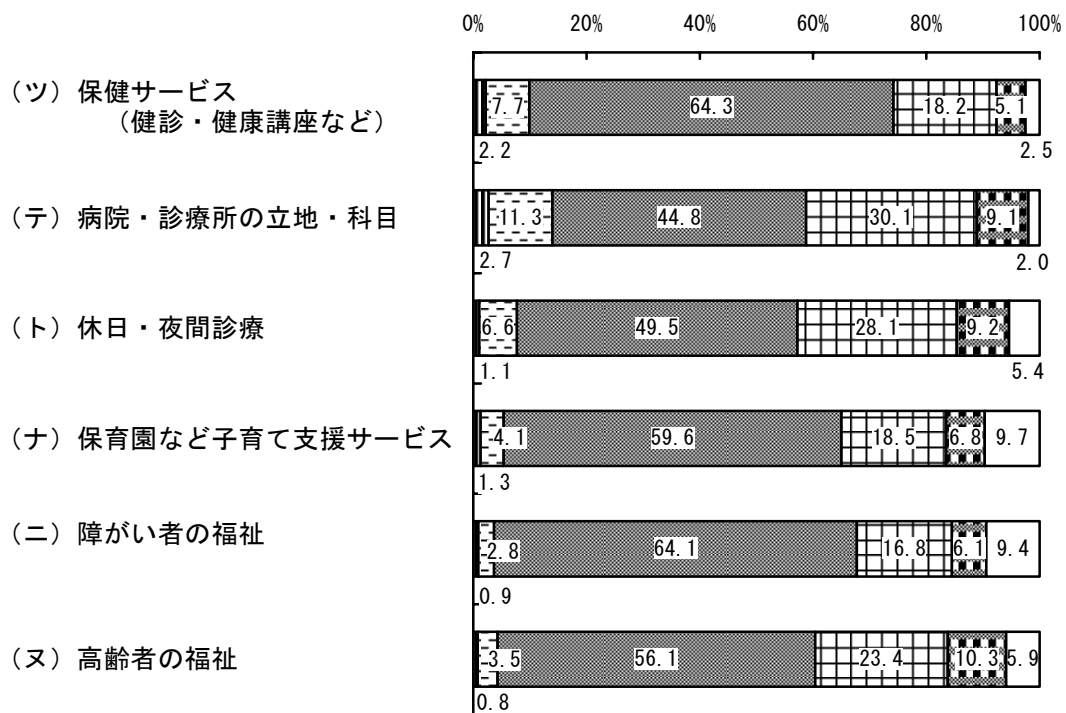
『保健サービス』や『障がい者福祉』については「普通」という回答が多い

問2 あなたの地域の生活環境などについて、どのように感じになりますか。(それぞれ1つずつに○)

回答者総数=790人

満足している
 まあまあ満足
 普通

やや不満
 不満である
 無回答



保健・医療・福祉に関することについて、項目ごとに満足度をたずねました。その結果、どの項目でも「普通」という割合が多く、特に『保健サービス (健診・健康講座など)』や『障がい者の福祉』では、「普通」が6割を超えています。

満足度の回答を点数化し、地区別に加重平均値を求めました。その結果、保健・医療・福祉に関する項目では、全体的に点数が低い傾向にあり、地区別にみても大きな差はみられませんでした。

【加重平均値 地区別】

区 分	(点)						
	全体	早稲田地区	東和北地区	高州・東町地区	戸ヶ崎地区	彦成地区	みさと団地・さつき平地区
(ツ) 保健サービス (健診・健康講座など)	-0.17	-0.19	-0.14	-0.16	-0.23	-0.11	-0.13
(テ) 病院・診療所の立地・科目	-0.32	-0.36	-0.18	-0.28	-0.39	-0.33	-0.33
(ト) 休日・夜間診療	-0.40	-0.42	-0.35	-0.41	-0.46	-0.32	-0.43
(ナ) 保育園など子育て支援サービス	-0.28	-0.26	-0.42	-0.19	-0.34	-0.33	-0.19
(ニ) 障がい者の福祉	-0.27	-0.25	-0.38	-0.27	-0.27	-0.18	-0.30
(ヌ) 高齢者の福祉	-0.41	-0.36	-0.43	-0.34	-0.50	-0.39	-0.47

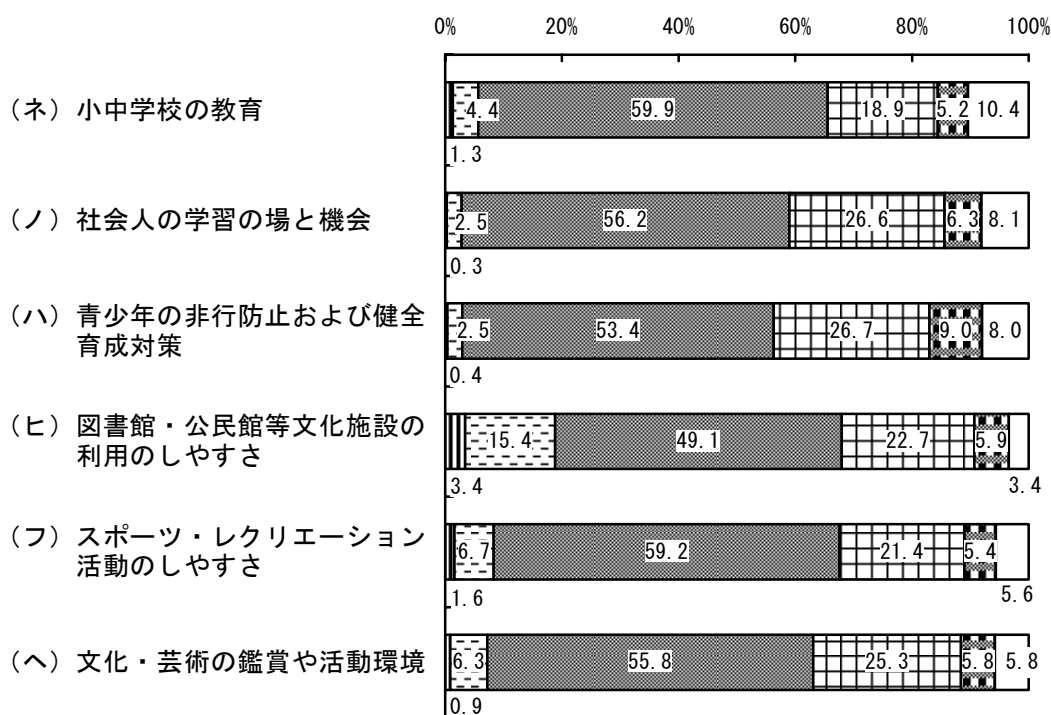
④教育・文化

『青少年の健全育成』については、比較的不満を感じている人が多い

問2 あなたの地域の生活環境などについて、どのように感じになりますか。(それぞれ1つずつに○)

回答者総数=790人

- 満足している
- まあまあ満足
- 普通
- やや不満
- 不満である
- 無回答



教育・文化に関することについて、項目ごとに満足度をたずねました。その結果、すべての項目で「普通」が5～6割を占めて多くなっています。また、『青少年の非行防止および健全育成対策』については、「やや不満」と「不満である」を合わせた割合が4割近くとなっています。

満足度の回答を点数化し、地区別に加重平均値を求めました。その結果、教育・文化に関する項目では、全体的に点数が低い傾向となっています。これを地区別にみると、『図書館・公民館等文化施設の利用のしやすさ』については、早稲田地区では0.01点となっており、他の地区より評価が高くなっています。

【加重平均値 地区別】

区 分	(点)						
	全体	早稲田地区	東和北地区	高州・東町地区	戸ヶ崎地区	彦成地区	みさと団地・さつき平地区
(ネ) 小中学校の教育	-0.25	-0.20	-0.28	-0.26	-0.42	-0.24	-0.19
(ノ) 社会人の学習の場と機会	-0.39	-0.41	-0.43	-0.39	-0.42	-0.35	-0.38
(ハ) 青少年の非行防止および健全育成対策	-0.45	-0.46	-0.36	-0.45	-0.49	-0.44	-0.48
(ヒ) 図書館・公民館等文化施設の利用のしやすさ	-0.13	0.01	-0.32	-0.19	-0.26	-0.15	-0.04
(フ) スポーツ・レクリエーション活動のしやすさ	-0.24	-0.24	-0.22	-0.06	-0.32	-0.23	-0.29
(ヘ) 文化・芸術の鑑賞や活動環境	-0.31	-0.28	-0.29	-0.31	-0.38	-0.28	-0.32

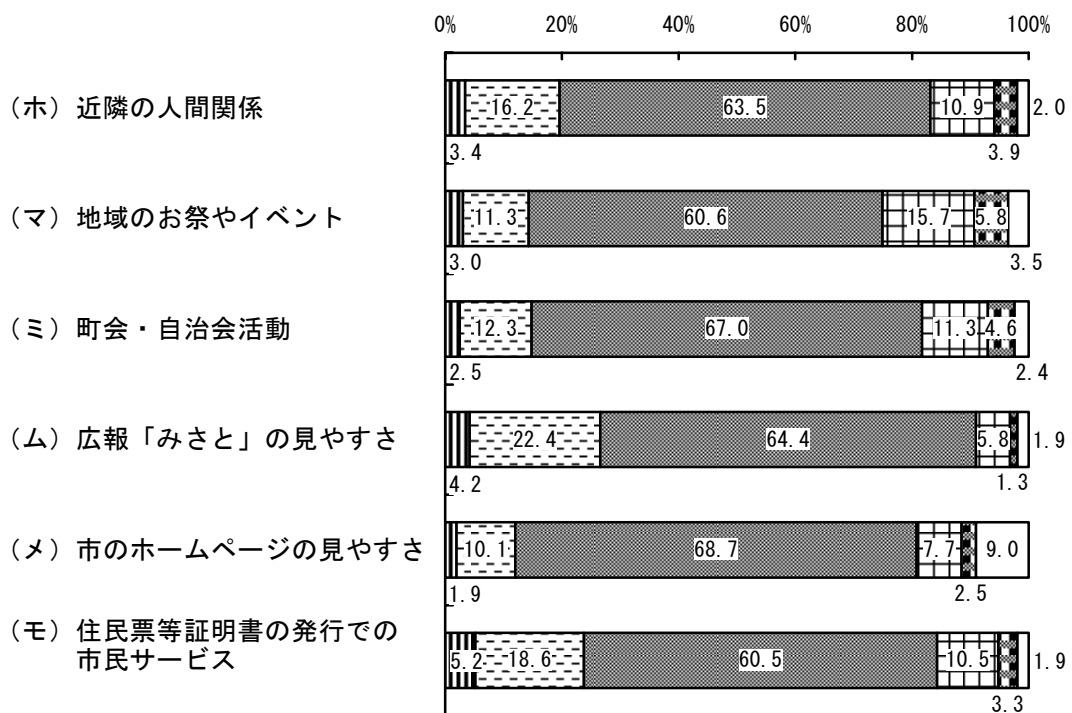
⑤市民活動・交流・行政

『広報「みさと」の見やすさ』は満足度が高い

問2 あなたの地域の生活環境などについて、どのように感じになりますか。(それぞれ1つずつに○)

回答者総数=790人

- ▨ 満足している
- ▩ まあまあ満足
- 普通
- ▧ やや不満
- ▣ 不満である
- 無回答



市民活動・交流・行政に関することについて、項目ごとに満足度をたずねました。その結果、すべての項目で「普通」が60%台で多くなっています。また『広報「みさと」の見やすさ』については、「やや不満」と「不満である」を合わせた割合が7%台で、不満を感じている人は少なくなっています。

満足度の回答を点数化し、地区別に加重平均値を求めました。その結果、『近隣の人間関係』については、高州・東町地区とみさと団地・さつき平地区では評価が少し低くなっていますが、それ以外の地区では評価は高くなっています。一方、『町会・自治会活動』については、高州・東町地区とみさと団地・さつき平地区では評価が高くなっています。

【加重平均値 地区別】

区 分	(点)						
	全体	早稲田 地区	東和北 地区	高州・東 町地区	戸ヶ崎 地区	彦成地区	みさと団 地・さつき 平地区
(ホ) 近隣の人間関係	0.04	0.07	0.03	-0.01	0.06	0.11	-0.05
(マ) 地域のお祭やイベント	-0.10	-0.12	-0.32	-0.21	-0.17	-0.03	0.13
(ミ) 町会・自治会活動	-0.03	-0.05	-0.07	0.15	-0.15	-0.04	0.10
(ム) 広報「みさと」の見やすさ	0.23	0.19	0.22	0.31	0.17	0.24	0.32
(メ) 市のホームページの見やすさ	0.01	-0.02	-0.06	0.16	-0.01	0.09	0.01
(モ) 住民票等証明書の発行での市民サービス	0.12	0.12	0.02	0.07	0.16	0.15	0.18

⑥全体比較

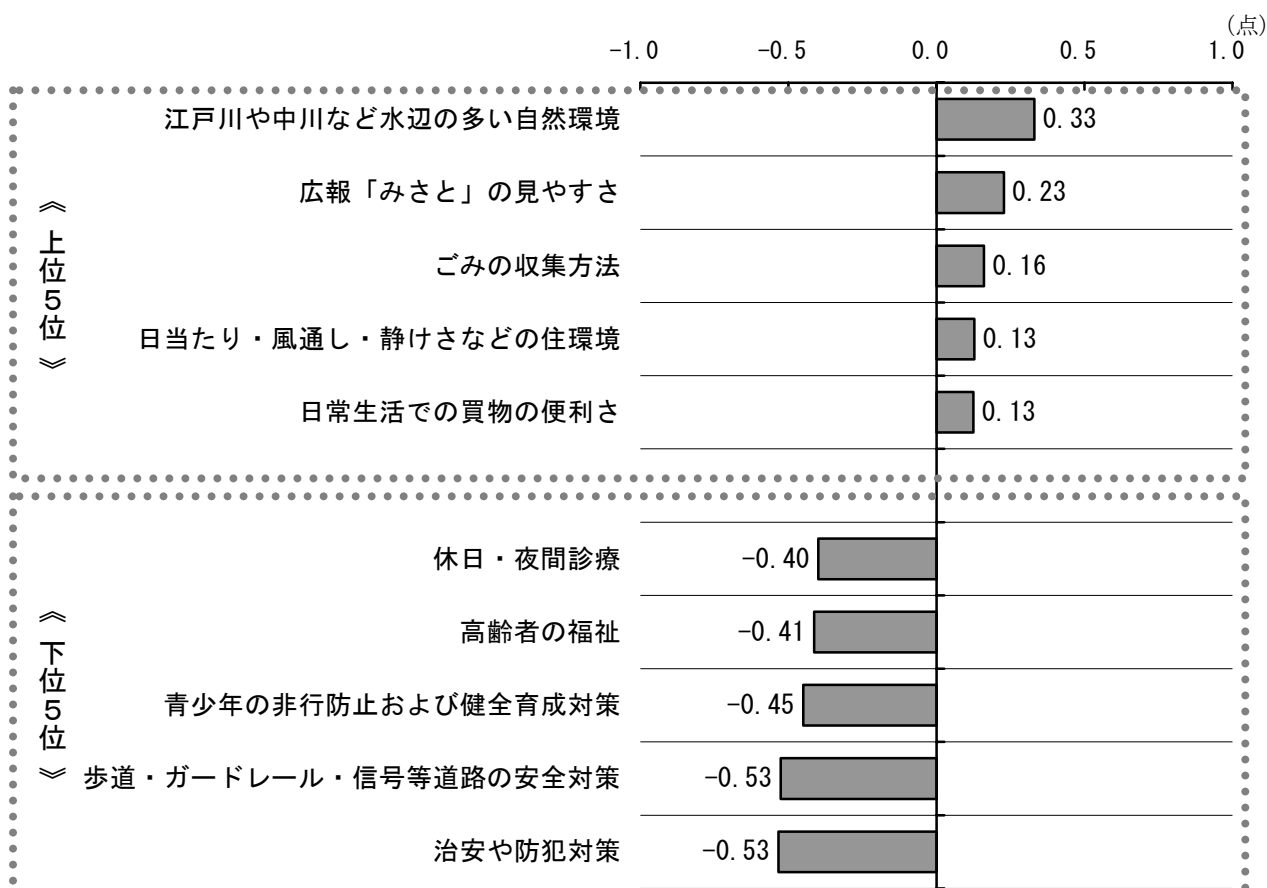
最も評価の高い項目は『水辺の多い自然環境』

満足度の回答を点数化して加重平均値を求めた結果について、全項目を通じた上位5位と下位5位をまとめると以下ようになりました。

最も点数が高かったのは『江戸川や中川など水辺の多い自然環境』で0.33点でした。次いで、『広報「みさと」の見やすさ』が0.23点、『ごみの収集方法』が0.16点と続いています。また、『日当たり・風通し・静けさなどの住環境』と『日常生活での買物の便利さ』は同点で0.13点となっています。

一方、最も点数が低かったのは、『歩道・ガードレール・信号等道路の安全対策』と『治安や防犯対策』の2項目で、ともに-0.53点でした。

【加重平均値 上位5位・下位5位】



【加重平均値 一覧表】

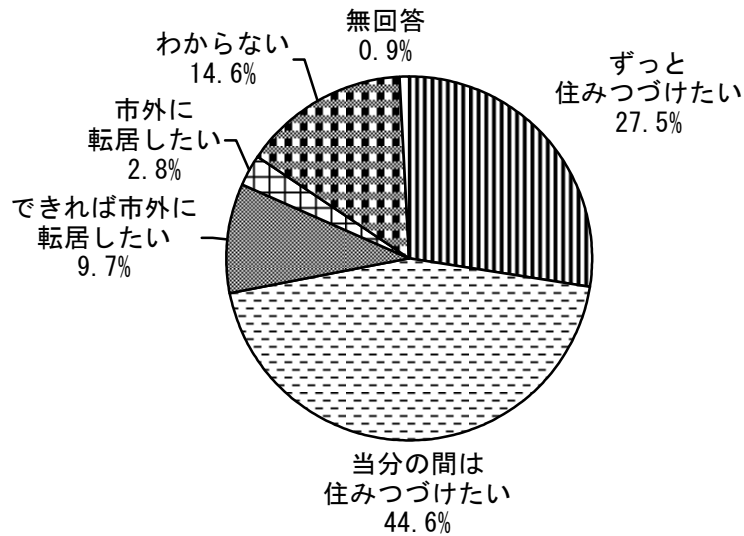
区 分		(点)						
		全体	早稲田 地区	東和北 地区	高州・東町 地区	戸ヶ崎 地区	彦成地区	みさと団 地・さつき 平地区
生活環境	(ア) 樹木・街路樹など緑の多さ	0.07	0.18	-0.21	0.34	-0.10	-0.17	0.35
	(イ) 江戸川や中川など水辺の多い自然環境	0.33	0.45	0.24	0.57	0.18	0.17	0.40
	(ウ) 河川の水害対策	-0.20	-0.05	-0.08	-0.34	-0.35	-0.30	-0.24
	(エ) 治安や防犯対策	-0.53	-0.63	-0.51	-0.48	-0.48	-0.48	-0.53
	(オ) 臭い・騒音などの公害対策	-0.39	-0.42	-0.45	-0.33	-0.25	-0.47	-0.32
	(カ) 地震など災害時の避難対策	-0.31	-0.29	-0.36	-0.32	-0.37	-0.34	-0.23
	(キ) 日常生活での買物の利便さ	0.13	0.16	-0.50	-0.19	0.44	0.05	0.50
	(ク) 公園や遊び場	-0.23	0.07	-0.77	0.31	-0.55	-0.62	0.04
都市基盤	(ケ) まちの美観や周囲の景観	-0.35	-0.27	-0.57	-0.26	-0.34	-0.42	-0.31
	(コ) 日当たり・風通し・静けさなどの住環境	0.13	0.13	-0.09	0.16	0.21	0.07	0.28
	(サ) 水道水のおいしさ・安全性	-0.17	-0.25	-0.11	0.16	-0.06	-0.24	-0.22
	(シ) 下水・排水の処理対策	-0.29	-0.17	-0.47	-0.81	-0.27	-0.37	-0.02
	(ス) ごみの収集方法	0.16	0.16	0.01	0.26	0.11	0.10	0.32
	(セ) 道路網の利便性	-0.22	-0.16	-0.16	-0.04	-0.28	-0.30	-0.33
	(ソ) 歩道・ガードレール・信号等道路の安全対策	-0.53	-0.40	-0.68	-0.54	-0.60	-0.51	-0.54
	(タ) 鉄道交通の利便性	-0.28	-0.09	0.00	-0.68	-0.68	-0.21	-0.31
保健・医療・福祉	(チ) バス交通の利便性	-0.24	-0.23	-0.36	0.07	-0.18	-0.28	-0.29
	(ツ) 保健サービス（健診・健康講座など）	-0.17	-0.19	-0.14	-0.16	-0.23	-0.11	-0.13
	(テ) 病院・診療所の立地・科目	-0.32	-0.36	-0.18	-0.28	-0.39	-0.33	-0.33
	(ト) 休日・夜間診療	-0.40	-0.42	-0.35	-0.41	-0.46	-0.32	-0.43
	(ナ) 保育園など子育て支援サービス	-0.28	-0.26	-0.42	-0.19	-0.34	-0.33	-0.19
	(ニ) 障がい者の福祉	-0.27	-0.25	-0.38	-0.27	-0.27	-0.18	-0.30
教育・文化	(ヌ) 高齢者の福祉	-0.41	-0.36	-0.43	-0.34	-0.50	-0.39	-0.47
	(ネ) 小中学校の教育	-0.25	-0.20	-0.28	-0.26	-0.42	-0.24	-0.19
	(ノ) 社会人の学習の場と機会	-0.39	-0.41	-0.43	-0.39	-0.42	-0.35	-0.38
	(ハ) 青少年の非行防止および健全育成対策	-0.45	-0.46	-0.36	-0.45	-0.49	-0.44	-0.48
	(ヒ) 図書館・公民館等文化施設の利用のしやすさ	-0.13	0.01	-0.32	-0.19	-0.26	-0.15	-0.04
	(フ) スポーツ・レクリエーション活動のしやすさ	-0.24	-0.24	-0.22	-0.06	-0.32	-0.23	-0.29
市民活動・交流・行政	(ヘ) 文化・芸術の鑑賞や活動環境	-0.31	-0.28	-0.29	-0.31	-0.38	-0.28	-0.32
	(ホ) 近隣の間人間関係	0.04	0.07	0.03	-0.01	0.06	0.11	-0.05
	(マ) 地域のお祭やイベント	-0.10	-0.12	-0.32	-0.21	-0.17	-0.03	0.13
	(ミ) 町会・自治会活動	-0.03	-0.05	-0.07	0.15	-0.15	-0.04	0.10
	(ム) 広報「みさと」の見やすさ	0.23	0.19	0.22	0.31	0.17	0.24	0.32
	(メ) 市のホームページの見やすさ	0.01	-0.02	-0.06	0.16	-0.01	0.09	0.01
(モ) 住民票等証明書の発行での市民サービス	0.12	0.12	0.02	0.07	0.16	0.15	0.18	

(3) 定住意向

定住志向のかたは約7割

問3 あなたは、これからも三郷市に住みたいと思いますか。(1つに○)

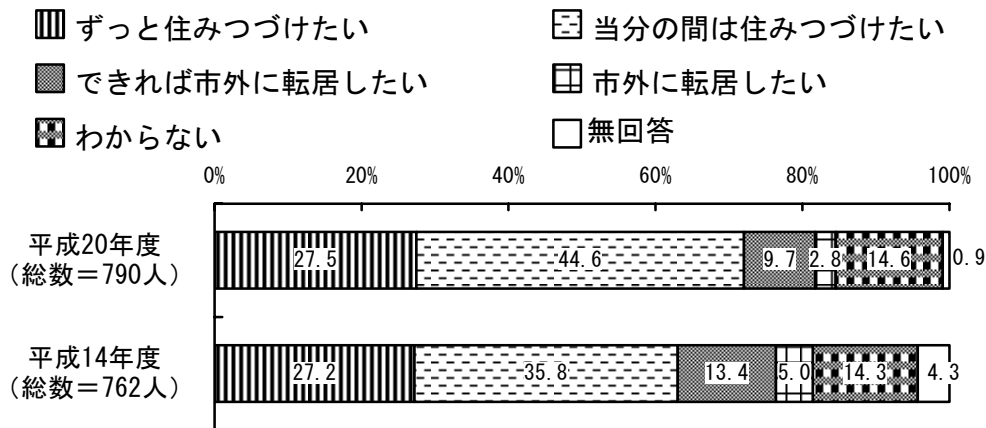
回答者総数=790人



これからも三郷市に住みたいと思うかをたずねたところ、「ずっと住みつづけたい」が27.5%、「当分の間は住みつづけたい」が44.6%となっており、これらを合わせると定住志向のかたが72.1%となっています。一方、「できれば市外に転居したい」は9.7%、「市外に転居したい」は2.8%で、これらを合わせると転出志向のかたが12.5%となっています。

定住意向を、平成14年度の調査結果と比較してみました。その結果、「ずっと住みつづけたい」の割合はほとんど変化がみられませんが、「当分の間は住みつづけたい」は35.8%から44.6%へ約9ポイント増加しています。

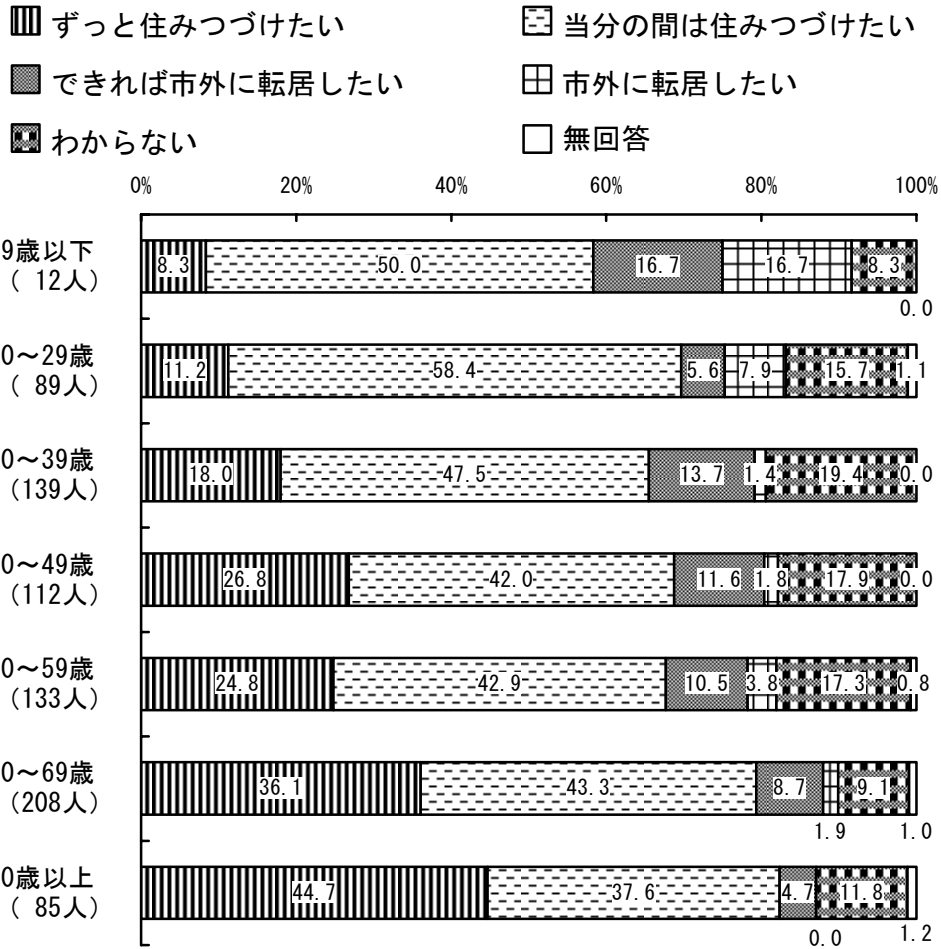
【時系列】



注) 平成14年度の選択肢を、「できれば市外に移りたい」→「できれば市外に転居したい」、「なるべく早く市外に移りたい」→「市外に転居したい」として比較している。

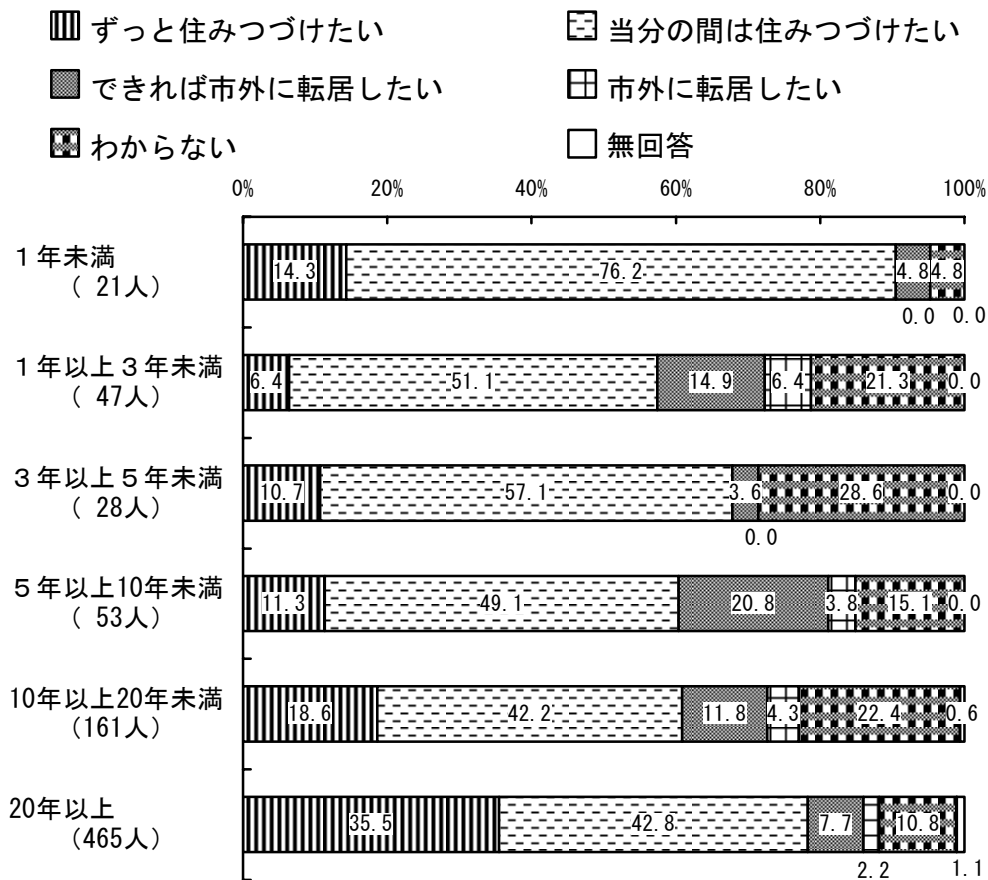
年齢別にみると、「ずっと住みつづけたい」という割合は、年代が上がるのにしたがって多くなる傾向がみられ、70歳以上では44.7%を占めています。一方、19歳以下では、「できれば市外に転居したい」と「市外に転居したい」がともに16.7%で、転出志向のかたが約3割を占めており、他の年代より多くなっています。

【年齢別】



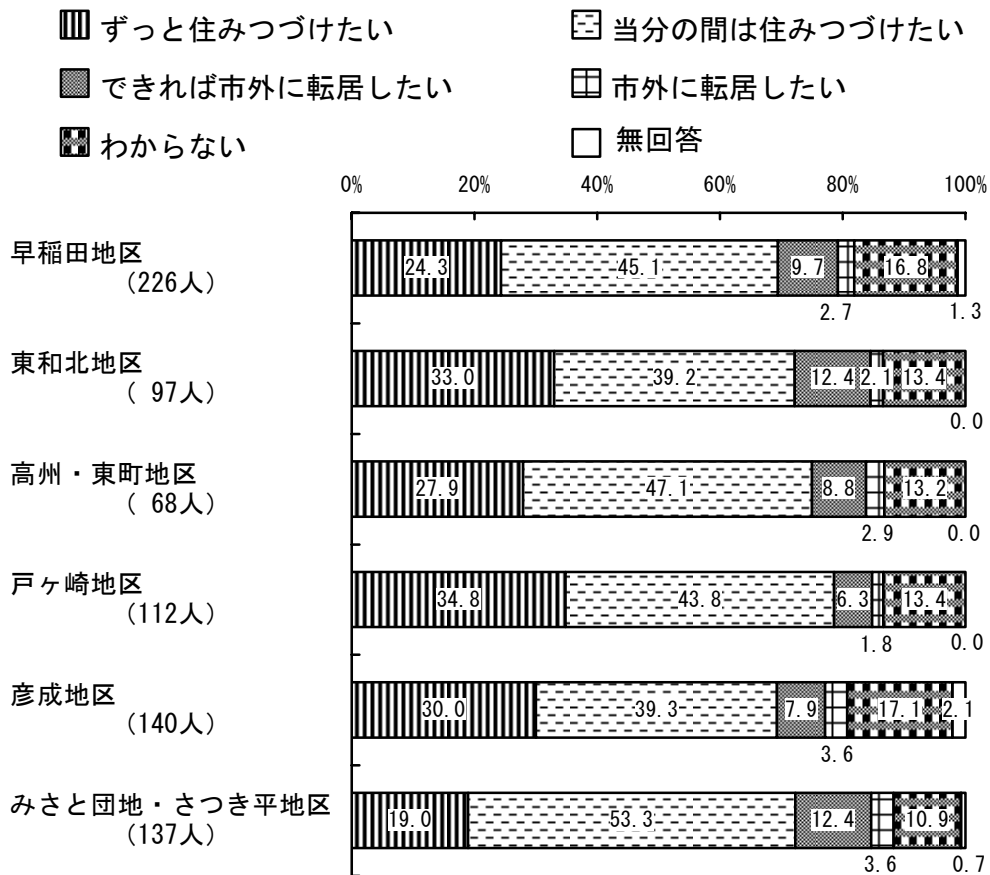
居住年数別にみると、1年未満では「ずっと住みつづけたい」が14.3%、「当分の間は住みつづけたい」が76.2%で、定住志向のかたが約9割を占めて割合が最も多い層となっています。一方、5年以上10年未満では、「できれば市外に転居したい」が20.8%、「市外に転居したい」が3.8%で、転出志向のかたが約25%を占めています。

【居住年数別】



地区別にみると、東和北地区や戸ヶ崎地区で「ずっと住みつづけたい」が3割を超えて多くなっています。また、みさと団地・さつき平地区では「当分の間は住みつづけたい」が53.3%と過半数を占めています。

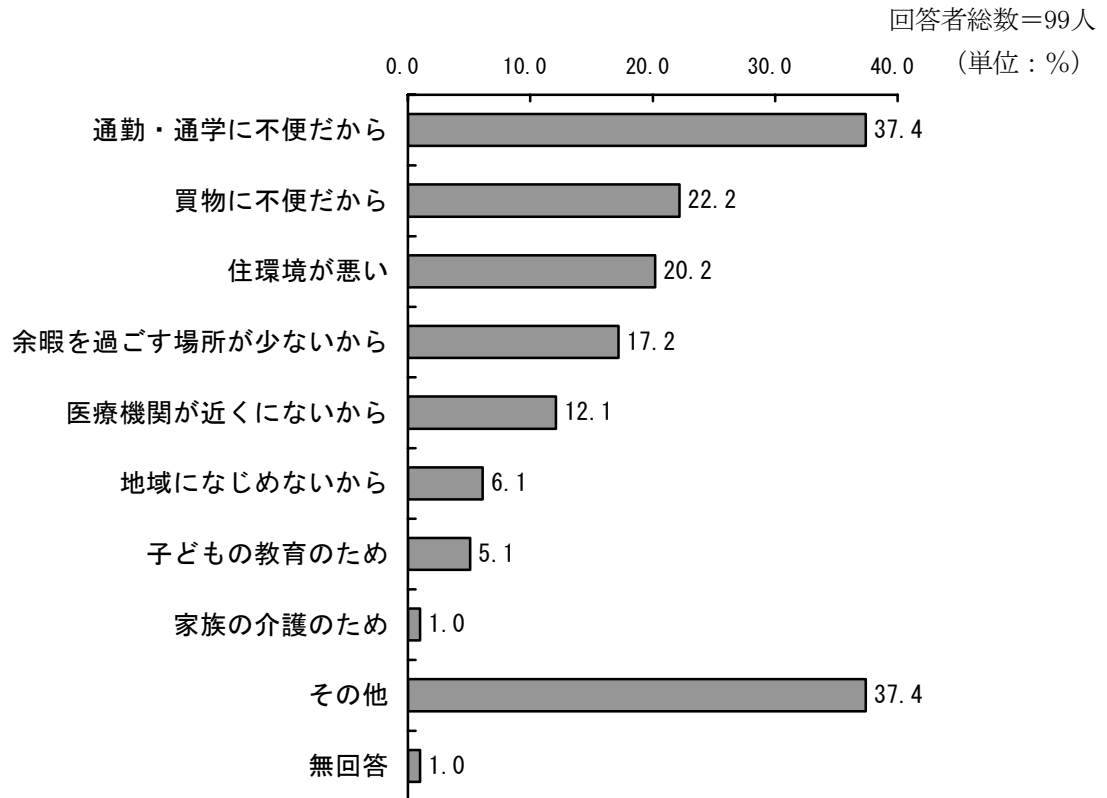
【地区別】



(4) 市外に転居したい理由

「通勤・通学に不便だから」が37.4%で最も多い

問3-1 市外に転居したい理由は、次のうちどれですか。(2つ以内で○)



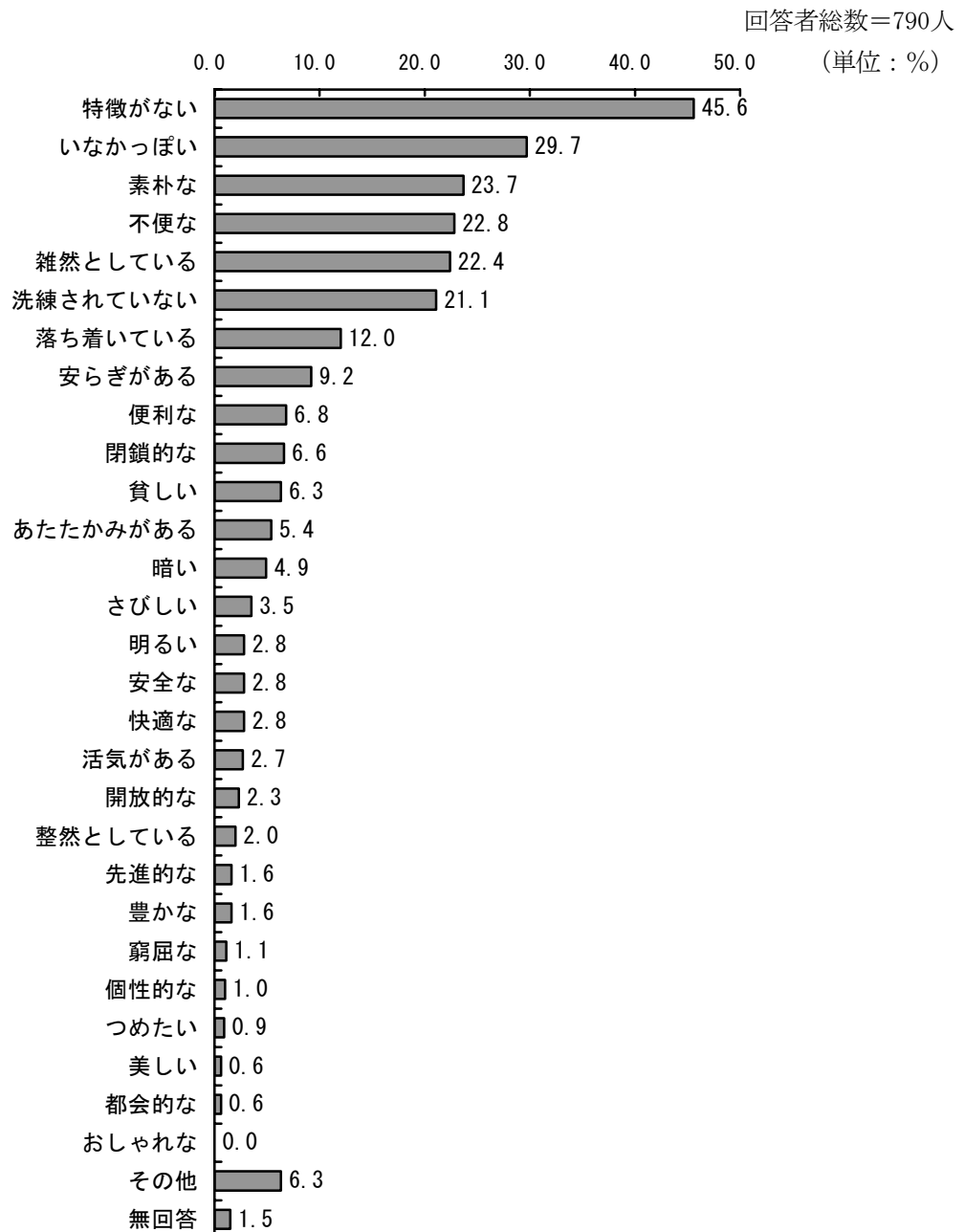
問3で「できれば市外に転居したい」、「市外に転居したい」と回答したかたに、その理由をたずねました。その結果、「通勤・通学に不便だから」が37.4%で最も多く、次いで「買物に不便だから」が22.2%、「住環境が悪い」が20.2%となっています。

2. 三郷市全体について

(1) 市のイメージを表す言葉

「特徴がない」が45.6%で最も多い

問4 あなたは、今の三郷市のイメージをどのように感じていますか。三郷市のイメージを表す言葉としてふさわしいものを選んでください。(3つ以内で○)



三郷市のイメージを表す言葉をたずねたところ、「特徴がない」が45.6%で最も多くなっています。続いて「いなかっぼい」が29.7%、「素朴な」が23.7%、「不便な」が22.8%、「雑然としている」が22.4%となっており、以上が上位5項目となっています。

年齢別に上位5項目をみると、19歳以下では「不便な」が第1位に、20～29歳と30～39歳では「いなかっぼい」が第1位となっています。また、40～49歳より上の年代では「特徴がない」が第1位になっています。「特徴がない」は、30～39歳より下の年代でも第2位に挙がっており、年代を通じて回答が多い項目となっています。

【年齢別 上位5位表】

区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
19歳以下 (12人)	不便な	特徴がない	いなかっぼい	落ち着いている／安らぎがある	
	58.3%	50.0%	33.3%	25.0%	
20～29歳 (89人)	いなかっぼい	特徴がない	素朴な	落ち着いている	雑然としている
	43.8%	36.0%	31.5%	23.6%	15.7%
30～39歳 (139人)	いなかっぼい	特徴がない	素朴な	不便な	洗練されていない
	38.8%	36.7%	23.7%	23.0%	20.1%
40～49歳 (112人)	特徴がない	いなかっぼい	不便な	素朴な	雑然としている
	50.9%	30.4%	29.5%	25.0%	15.2%
50～59歳 (133人)	特徴がない	雑然としている	洗練されていない	不便な	素朴な
	52.6%	30.1%	28.6%	26.3%	24.1%
60～69歳 (208人)	特徴がない	雑然としている	洗練されていない	素朴な	いなかっぼい
	48.6%	28.8%	26.0%	23.1%	22.1%
70歳以上 (85人)	特徴がない	いなかっぼい	洗練されていない／雑然としている	素朴な	
	42.4%	28.2%		23.5%	

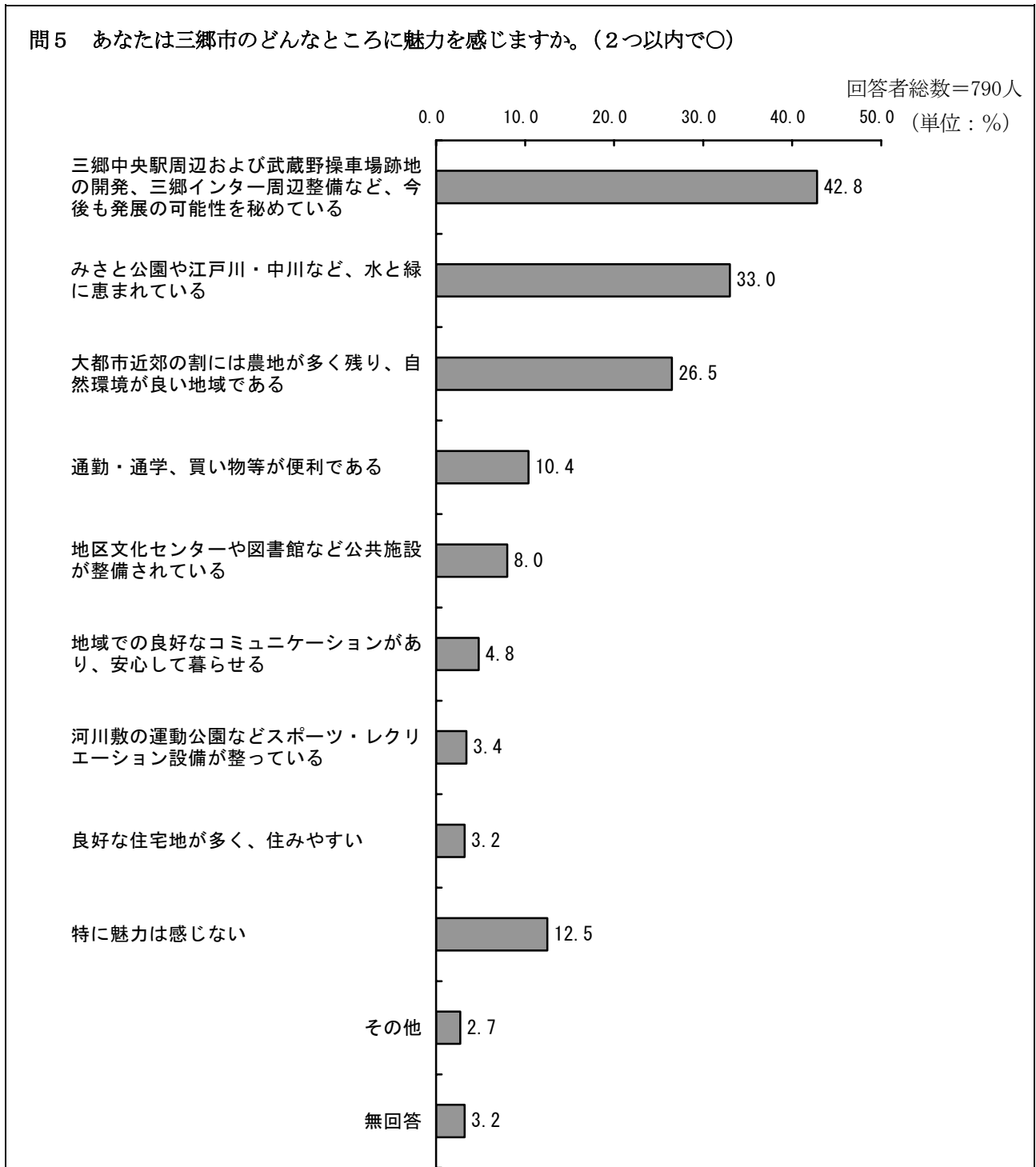
地区別に上位5項目をみると、どの地区でも「特徴がない」が第1位になっています。また、早稲田地区、東和北地区、戸ヶ崎地区、みさと団地・さつき平地区では、「いなかっぼい」が第2位になっています。

【地区別 上位5位表】

区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
早稲田地区 (226人)	特徴がない	いなかっぼい	雑然としている	洗練されていない	素朴な
	46.0%	27.0%	21.7%	21.2%	19.9%
東和北地区 (97人)	特徴がない	いなかっぼい	不便な	素朴な	洗練されていない
	48.5%	35.1%	26.8%	25.8%	20.6%
高州・東町地区 (68人)	特徴がない	不便な	いなかっぼい	洗練されていない	素朴な
	51.5%	33.8%	30.9%	25.0%	20.6%
戸ヶ崎地区 (112人)	特徴がない	いなかっぼい	不便な	素朴な	洗練されていない
	43.8%	32.1%	29.5%	28.6%	22.3%
彦成地区 (140人)	特徴がない	雑然としている	不便な	いなかっぼい	素朴な
	37.1%	27.9%	26.4%	25.7%	25.0%
みさと団地・ さつき平地区 (137人)	特徴がない	いなかっぼい	雑然としている	素朴な	洗練されていない
	51.1%	31.4%	27.0%	26.3%	25.5%

(2) 市の魅力を感じるどころ

「今後も発展の可能性を秘めている」が42.8%で最も多い



三郷市のどんなところに魅力を感じているかをたずねたところ、「三郷中央駅周辺および武蔵野操車場跡地の開発、三郷インター周辺整備など、今後も発展の可能性を秘めている」が42.8%で最も多くなっています。次いで、「みさと公園や江戸川・中川など、水と緑に恵まれている」が33.0%、「大都市近郊の割には農地が多く残り、自然環境が良い地域である」が26.5%となっています。

年齢別に上位5項目をみると、19歳以下では「みさと公園や江戸川・中川など、水と緑に恵まれている」が第1位になっています。また、20～29歳より上の年代では、「三郷中央駅周辺および武蔵野操車場跡地の開発、三郷インター周辺整備など、今後も発展の可能性を秘めている」が第1位になっているほか、「みさと公園や江戸川・中川など、水と緑に恵まれている」と「大都市近郊の割には農地が多く残り、自然環境が良い地域である」が第2位と第3位になっています。

【年齢別 上位5位表】

区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
19歳以下 (12人)	水と緑に恵まれている	発展の可能性を秘めている／自然環境が良い地域である		通勤・通学、買い物等が便利	公共施設が整備されている／良好なコミュニケーションがある
	33.3%	25.0%		16.7%	8.3%
20～29歳 (89人)	発展の可能性を秘めている	水と緑に恵まれている／自然環境が良い地域である		通勤・通学、買い物等が便利	良好な住宅地が多く住みやすい
	52.8%	22.5%		19.1%	6.7%
30～39歳 (139人)	発展の可能性を秘めている	水と緑に恵まれている	自然環境が良い地域である	通勤・通学、買い物等が便利	良好なコミュニケーションがある
	49.6%	34.5%	28.8%	8.6%	5.8%
40～49歳 (112人)	発展の可能性を秘めている	水と緑に恵まれている／自然環境が良い地域である		通勤・通学、買い物等が便利	公共施設が整備されている
	42.0%	26.8%		6.3%	5.4%
50～59歳 (133人)	発展の可能性を秘めている	水と緑に恵まれている	自然環境が良い地域である	公共施設が整備されている／通勤・通学、買い物等が便利	
	39.8%	36.1%	31.6%	6.0%	
60～69歳 (208人)	発展の可能性を秘めている	水と緑に恵まれている	自然環境が良い地域である	公共施設が整備されている	通勤・通学、買い物等が便利
	36.5%	35.1%	25.0%	13.9%	11.1%
70歳以上 (85人)	発展の可能性を秘めている	水と緑に恵まれている	自然環境が良い地域である	通勤・通学、買い物等が便利	公共施設が整備されている
	43.5%	40.0%	22.4%	11.8%	10.6%

地区別に上位5項目をみると、早稲田地区と高州・東町地区では「みさと公園や江戸川・中川など、水と緑に恵まれている」が第1位になっており、特に高州・東町地区では63.2%と割合も多くなっています。一方、東和北地区、戸ヶ崎地区、彦成地区、みさと団地・さつき平地区では、「三郷中央駅周辺および武蔵野操車場跡地の開発、三郷インター周辺整備など、今後も発展の可能性を秘めている」が第1位になっています。

【地区別 上位5位表】

区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
早稲田地区 (226人)	水と緑に恵まれている	発展の可能性を秘めている	自然環境が良い地域である	通勤・通学、買い物等が便利	公共施設が整備されている
	37.2%	35.8%	25.2%	16.4%	6.2%
東和北地区 (97人)	発展の可能性を秘めている	水と緑に恵まれている	自然環境が良い地域である	公共施設が整備されている	良好なコミュニケーションがある
	45.4%	33.0%	29.9%	11.3%	5.2%
高州・東町地区 (68人)	水と緑に恵まれている	自然環境が良い地域である	発展の可能性を秘めている	公共施設が整備されている	良好なコミュニケーションがある
	63.2%	27.9%	20.6%	14.7%	5.9%
戸ヶ崎地区 (112人)	発展の可能性を秘めている	水と緑に恵まれている	自然環境が良い地域である	通勤・通学、買い物等が便利	公共施設が整備されている／良好な住宅地が多く住みやすい
	42.0%	40.2%	20.5%	9.8%	7.1%
彦成地区 (140人)	発展の可能性を秘めている	自然環境が良い地域である	水と緑に恵まれている	通勤・通学、買い物等が便利	公共施設が整備されている／良好なコミュニケーションがある
	55.0%	27.1%	17.1%	8.6%	6.4%
みさと団地・さつき平地区 (137人)	発展の可能性を秘めている	自然環境が良い地域である	水と緑に恵まれている	通勤・通学、買い物等が便利	公共施設が整備されている
	51.1%	29.9%	21.2%	11.7%	8.0%

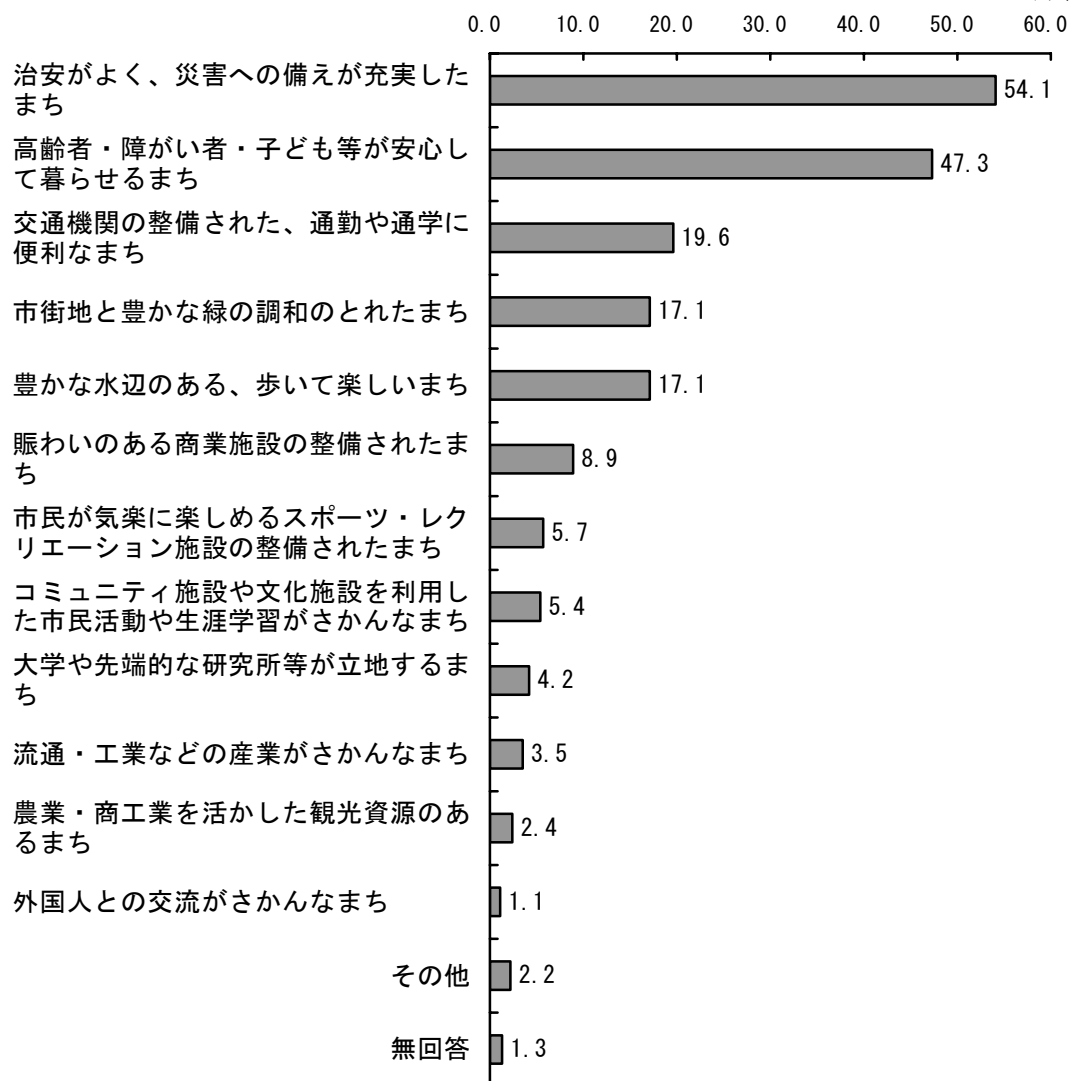
(3) まちの将来像

「治安がよく、災害への備えが充実したまち」が54.1%で最も多い

問6 あなたは、将来の三郷市がどのようなまちになって欲しいと思いますか。(2つ以内で○)

回答者総数=790人

(単位：%)



将来の三郷市がどのようなまちになって欲しいかをたずねたところ、「治安がよく、災害への備えが充実したまち」が54.1%で最も多くなっています。次いで、「高齢者・障がい者・子ども等が安心して暮らせるまち」が47.3%、「交通機関の整備された、通勤や通学に便利なまち」が19.6%となっています。

年齢別にみると、20～29歳より上の年代では、「治安がよく、災害への備えが充実したまち」と「高齢者・障がい者・子ども等が安心して暮らせるまち」が第1位と第2位を占めています。一方、19歳以下では、「治安がよく、災害への備えが充実したまち」が第1位になっていますが、第2位には「交通機関の整備された、通勤や通学に便利なまち」が挙がっています。

【年齢別 上位5位表】

区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
19歳以下 (12人)	治安がよく、災害への備えが充実したまち 66.7%	通勤や通学に便利なまち 41.7%	市街地と緑の調和のとれたまち／商業施設の整備されたまち／スポ・レク施設の整備されたまち／安心して暮らせるまち 16.7%		
20～29歳 (89人)	治安がよく、災害への備えが充実したまち 56.2%	安心して暮らせるまち 31.5%	通勤や通学に便利なまち 29.2%	豊かな水辺のある歩いて楽しいまち 19.1%	市街地と緑の調和のとれたまち 18.0%
30～39歳 (139人)	治安がよく、災害への備えが充実したまち 51.8%	安心して暮らせるまち 45.3%	通勤や通学に便利なまち 23.0%	市街地と緑の調和のとれたまち 22.3%	豊かな水辺のある歩いて楽しいまち 17.3%
40～49歳 (112人)	治安がよく、災害への備えが充実したまち 50.9%	安心して暮らせるまち 49.1%	通勤や通学に便利なまち 20.5%	市街地と緑の調和のとれたまち 16.1%	豊かな水辺のある歩いて楽しいまち 14.3%
50～59歳 (133人)	治安がよく、災害への備えが充実したまち 55.6%	安心して暮らせるまち 47.4%	通勤や通学に便利なまち 20.3%	市街地と緑の調和のとれたまち 19.5%	豊かな水辺のある歩いて楽しいまち 13.5%
60～69歳 (208人)	安心して暮らせるまち 53.4%	治安がよく、災害への備えが充実したまち 51.4%	豊かな水辺のある歩いて楽しいまち 21.2%	市街地と緑の調和のとれたまち 16.3%	通勤や通学に便利なまち 12.5%
70歳以上 (85人)	治安がよく、災害への備えが充実したまち 60.0%	安心して暮らせるまち 54.1%	通勤や通学に便利なまち 17.6%	豊かな水辺のある歩いて楽しいまち 15.3%	市街地と緑の調和のとれたまち 7.1%

地区別に上位5項目をみると、早稲田地区、東和北地区、高州・東町地区、戸ヶ崎地区、みさと団地・さつき平地区では、「治安がよく、災害への備えが充実したまち」が第1位になっています。特に、高州・東町地区では「治安がよく、災害への備えが充実したまち」が61.8%で割合も多くなっています。一方、彦成地区では、「高齢者・障がい者・子ども等が安心して暮らせるまち」が第1位になっています。

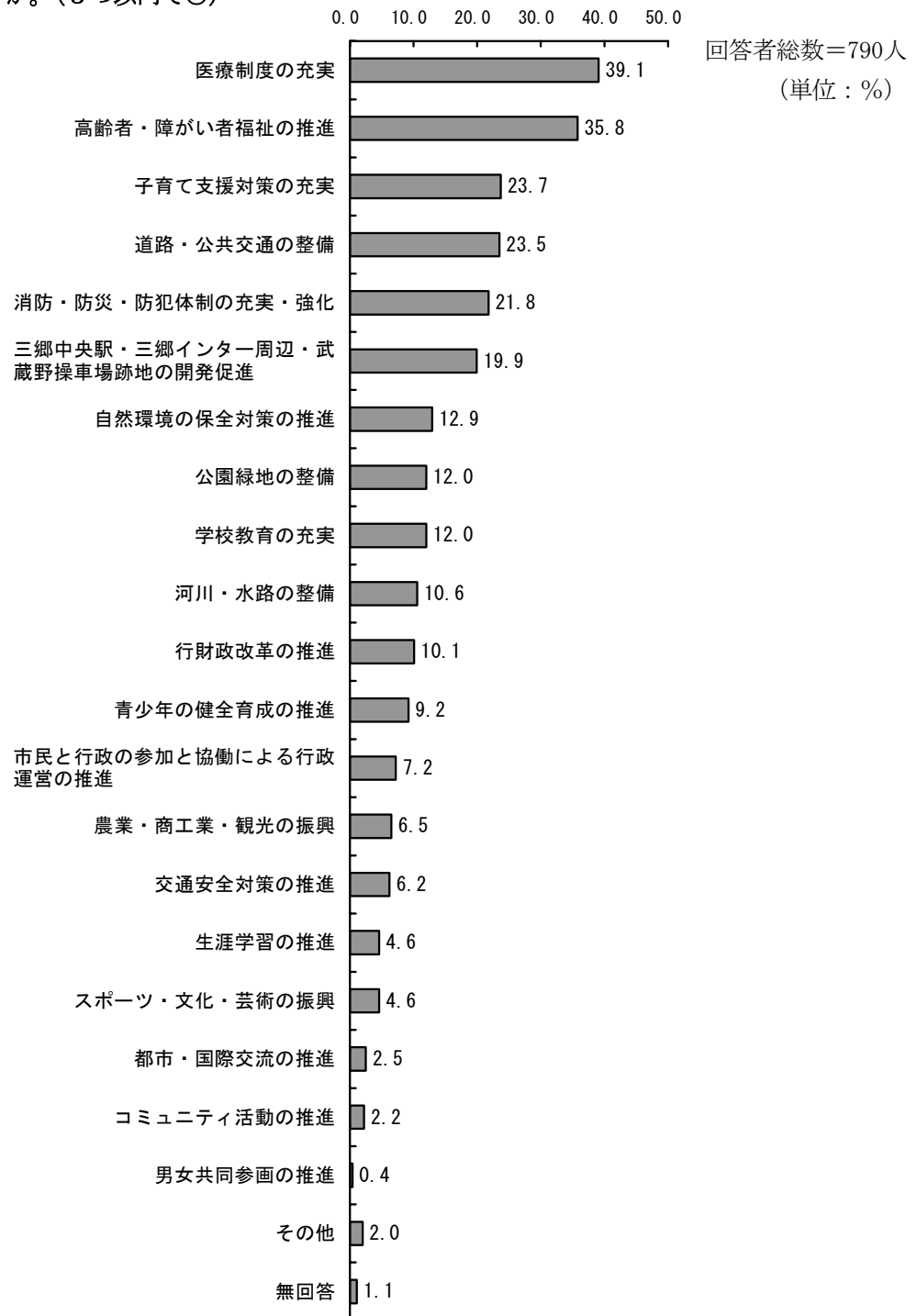
【地区別 上位5位表】

区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
早稲田地区 (226人)	治安がよく、災害への備えが充実したまち	安心して暮らせるまち	豊かな水辺のある歩いて楽しいまち	市街地と緑の調和のとれたまち	通勤や通学に便利なまち
	54.4%	43.8%	19.0%	17.7%	15.5%
東和北地区 (97人)	治安がよく、災害への備えが充実したまち	安心して暮らせるまち	豊かな水辺のある歩いて楽しいまち／通勤や通学に便利なまち		商業施設の整備されたまち
	51.5%	48.5%		18.6%	15.5%
高州・東町地区 (68人)	治安がよく、災害への備えが充実したまち	安心して暮らせるまち	通勤や通学に便利なまち	市街地と緑の調和のとれたまち	豊かな水辺のある歩いて楽しいまち
	61.8%	52.9%	23.5%	20.6%	11.8%
戸ヶ崎地区 (112人)	治安がよく、災害への備えが充実したまち	安心して暮らせるまち	通勤や通学に便利なまち	市街地と緑の調和のとれたまち	豊かな水辺のある歩いて楽しいまち
	58.0%	49.1%	27.7%	14.3%	11.6%
彦成地区 (140人)	安心して暮らせるまち	治安がよく、災害への備えが充実したまち	通勤や通学に便利なまち	豊かな水辺のある歩いて楽しいまち	市街地と緑の調和のとれたまち
	52.9%	47.9%	18.6%	16.4%	15.0%
みさと団地・さつき平地区 (137人)	治安がよく、災害への備えが充実したまち	安心して暮らせるまち	市街地と緑の調和のとれたまち	豊かな水辺のある歩いて楽しいまち	通勤や通学に便利なまち
	55.5%	45.3%	21.9%	20.4%	19.7%

(4) 力を入れてほしい分野

「医療制度の充実」と「高齢者・障がい者福祉の推進」が多い

問7 あなたの考える将来の三郷市を実現するためには、今後市としてどのような分野に力を入れていくべきだと思いますか。(3つ以内で○)



今後市としてどのような分野に力を入れていくべきかをたずねたところ、「医療制度の充実」が39.1%で最も多く、次いで「高齢者・障がい者福祉の推進」が35.8%、「子育て支援対策の充実」が23.7%となっています。また、「道路・公共交通の整備」が23.5%と続いています。

年齢別にみると、19歳以下では「消防・防災・防犯体制の充実・強化」が第1位に、20～29歳と30～39歳では「子育て支援対策の充実」が第1位になっています。40～49歳より上の年代では、「医療制度の充実」と「高齢者・障がい者福祉の推進」が、第1位と第2位を占めています。このように、年代によって力を入れてほしい分野に違いがみられる結果となっています。

【年齢別 上位5位表】

区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
19歳以下 (12人)	消防・防災・防犯体制の充実・強化 41.7%	医療制度の充実／道路・公共交通の整備 33.3%	交通安全対策の推進／開発促進 25.0%		
20～29歳 (89人)	子育て支援対策の充実 38.2%	道路・公共交通の整備 29.2%	医療制度の充実／消防・防災・防犯体制の充実・強化／開発促進 27.0%		
30～39歳 (139人)	子育て支援対策の充実 46.0%	開発促進 32.4%	医療制度の充実 30.9%	道路・公共交通の整備 23.0%	高齢者・障がい者福祉の推進 20.9%
40～49歳 (112人)	医療制度の充実 36.6%	高齢者・障がい者福祉の推進 35.7%	消防・防災・防犯体制の充実・強化／道路・公共交通の整備 30.4%		子育て支援対策の充実 27.7%
50～59歳 (133人)	医療制度の充実 41.4%	高齢者・障がい者福祉の推進 34.6%	道路・公共交通の整備 29.3%	消防・防災・防犯体制の充実・強化 23.3%	開発促進 15.8%
60～69歳 (208人)	高齢者・障がい者福祉の推進 48.6%	医療制度の充実 43.3%	消防・防災・防犯体制の充実・強化 18.3%	道路・公共交通の整備 16.3%	子育て支援対策の充実／自然環境の保全対策の推進 14.9%
70歳以上 (85人)	医療制度の充実 54.1%	高齢者・障がい者福祉の推進 52.9%	消防・防災・防犯体制の充実・強化 20.0%	道路・公共交通の整備 18.8%	開発促進 17.6%

地区別にみると、どの地区でも「医療制度の充実」と「高齢者・障がい者福祉の推進」が、第1位と第2位を占めています。特に戸ヶ崎地区やみさと団地・さつき平地区では、第1位の「医療制度の充実」が約5割で割合も多くなっています。

【地区別 上位5位表】

区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
早稲田地区 (226人)	医療制度の充実	高齢者・障がい者福祉の推進	消防・防災・防犯体制の充実・強化	子育て支援対策の充実	道路・公共交通の整備
	34.5%	32.3%	27.9%	23.9%	22.6%
東和北地区 (97人)	医療制度の充実	高齢者・障がい者福祉の推進	子育て支援対策の充実／開発促進	消防・防災・防犯体制の充実・強化	
	38.1%	32.0%	26.8%		19.6%
高州・東町地区 (68人)	医療制度の充実	高齢者・障がい者福祉の推進	道路・公共交通の整備	子育て支援対策の充実／消防・防災・防犯体制の充実・強化	
	42.6%	38.2%	27.9%	20.6%	
戸ヶ崎地区 (112人)	医療制度の充実	高齢者・障がい者福祉の推進	子育て支援対策の充実	道路・公共交通の整備	開発促進
	48.2%	38.4%	30.4%	24.1%	21.4%
彦成地区 (140人)	医療制度の充実／高齢者・障がい者福祉の推進		子育て支援対策の充実	公園緑地の整備／道路・公共交通の整備	
	32.9%		23.6%	22.1%	
みさと団地・ さつき平地区 (137人)	医療制度の充実	高齢者・障がい者福祉の推進	道路・公共交通の整備	消防・防災・防犯体制の充実・強化	開発促進
	45.3%	43.1%	27.0%	26.3%	24.1%

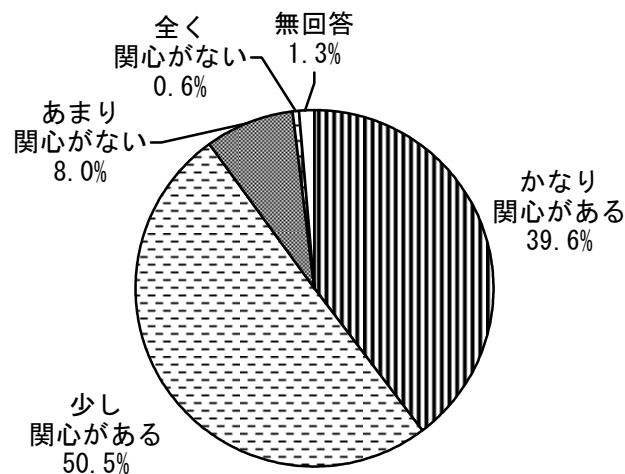
3. 地球温暖化問題について

(1) 地球温暖化問題への関心度

関心があるかたは約9割

問8 今年、北海道の洞爺湖でサミット（先進国首脳会議）が開催され、地球温暖化問題について議論になりました。あなたご自身は、この地球温暖化問題にどの程度の関心がありますか。（1つに○）

回答者総数=790人



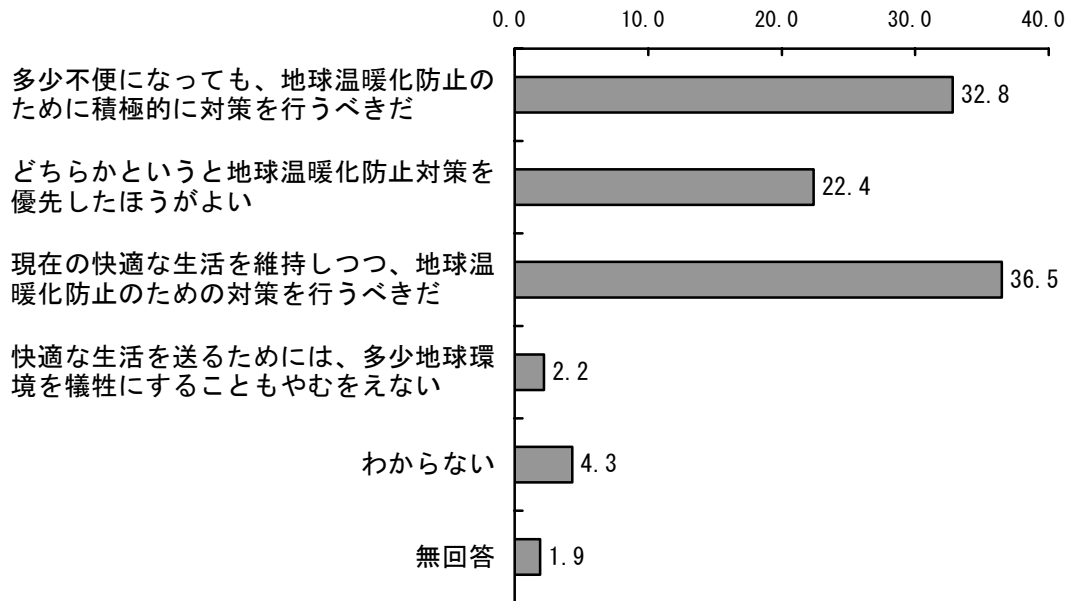
地球温暖化問題にどの程度の関心があるかをたずねたところ、「かなり関心がある」が39.6%、「少し関心がある」が50.5%となっており、これらを合わせると関心があるかたは90.1%となっています。一方、「あまり関心がない」は8.0%、「全く関心がない」は0.6%で、これらを合わせると関心がないかたは8.6%にとどまっています。

(2) 地球温暖化に対する考え方

“地球温暖化防止対策が優先”が過半数

問9 地球温暖化問題の対応について、あなたの考えに近いものは次のうちどれですか。(1つに○)

回答者総数=790人
(単位：%)

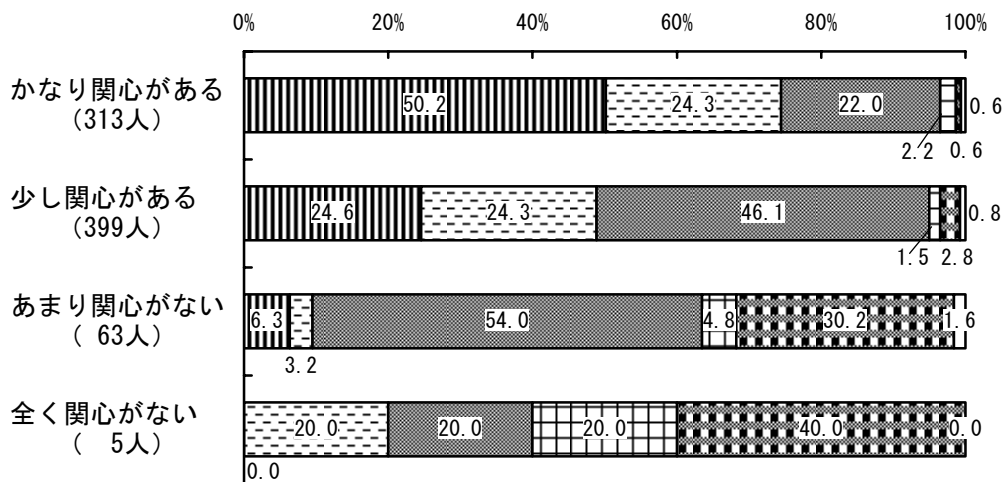


地球温暖化問題の対応についてたずねたところ、「多少不便になっても、地球温暖化防止のために積極的に対策を行うべきだ」が32.8%、「どちらかという地球温暖化防止対策を優先したほうがよい」が22.4%となっています。これらを合わせると、“地球温暖化防止対策が優先”とする人が55.2%で過半数を占めています。一方、「現在の快適な生活を維持しつつ、地球温暖化防止のための対策を行うべきだ」も36.5%おり、「快適な生活を送るためには、多少地球環境を犠牲にすることもやむをえない」の2.2%と合わせると、地球温暖化防止対策に消極的な人は38.7%となっています。

問8の地球温暖化問題への関心度別にみると、『かなり関心がある』では「多少不便になっても、地球温暖化防止のために積極的に対策を行うべきだ」が50.2%で約半数を占めており、地球温暖化防止対策を優先に考える人が多くなっています。しかし、関心度が低くなるほどその割合は減少し、『あまり関心がない』では6.3%、『全く関心がない』では0.0%になっています。また、『全く関心がない』では「わからない」が40.0%と多くなっています。

【地球温暖化問題への関心度別】

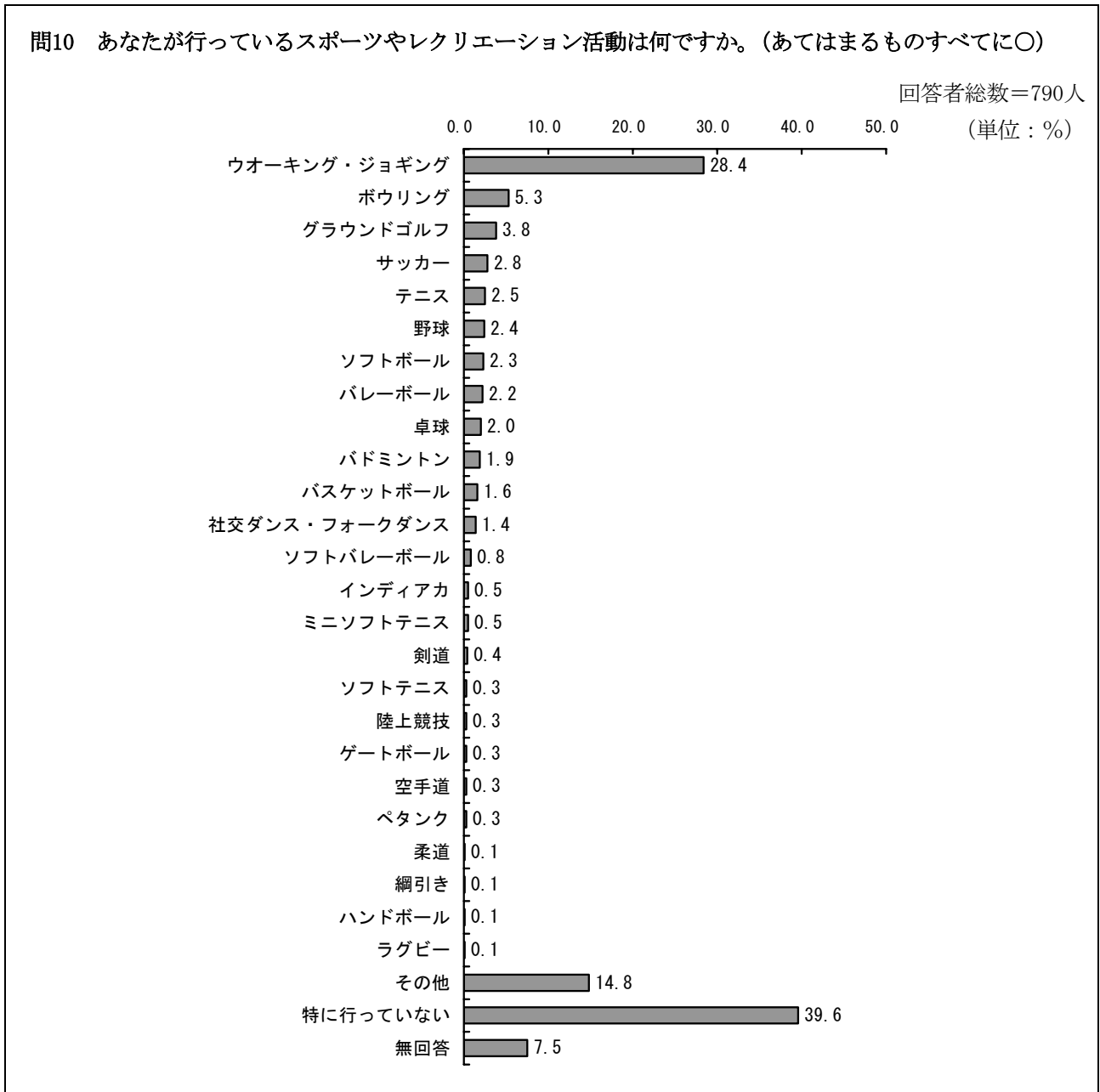
- ▨ 多少不便になっても、地球温暖化防止のために積極的に対策を行うべきだ
- ▧ どちらかという地球温暖化防止対策を優先したほうがよい
- 現在の快適な生活を維持しつつ、地球温暖化防止のための対策を行うべきだ
- ▩ 快適な生活を送るためには、多少地球環境を犠牲にすることもやむをえない
- ▩ わからない
- 無回答



4. スポーツ・レクリエーション活動について

(1) 行っているスポーツ・レクリエーション活動

「ウオーキング・ジョギング」が28.4%で最も多い



行っているスポーツ・レクリエーション活動をたずねたところ、活動内容としては、「ウオーキング・ジョギング」が28.4%で最も多く、次いで「ボウリング」が5.3%となっています。また、「その他」という回答は14.8%で、その内容をみると、「ゴルフ」や「水泳」、「ヨガ」などの記入がありました。

「特に行っていない」(39.6%)と「無回答」(7.5%)を除いた52.9%は、何らかのスポーツ・レクリエーション活動を行っているとしています。

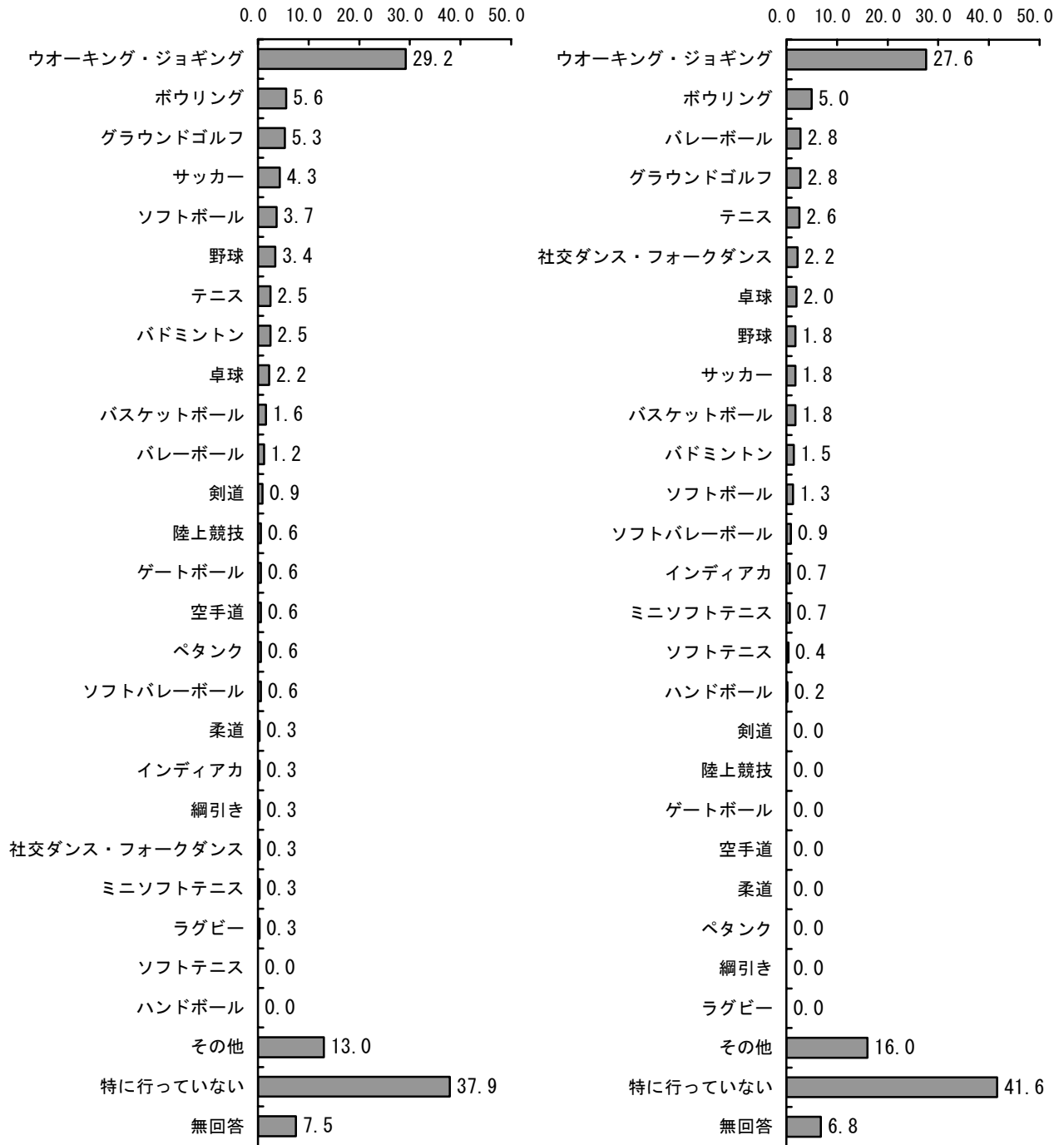
性別にみると、男性女性ともに、「ウォーキング・ジョギング」で最も多く、次いで「ボウリング」が多くなっています。

【性別】

(単位：%)

《 男性（322人） 》

《 女性（457人） 》



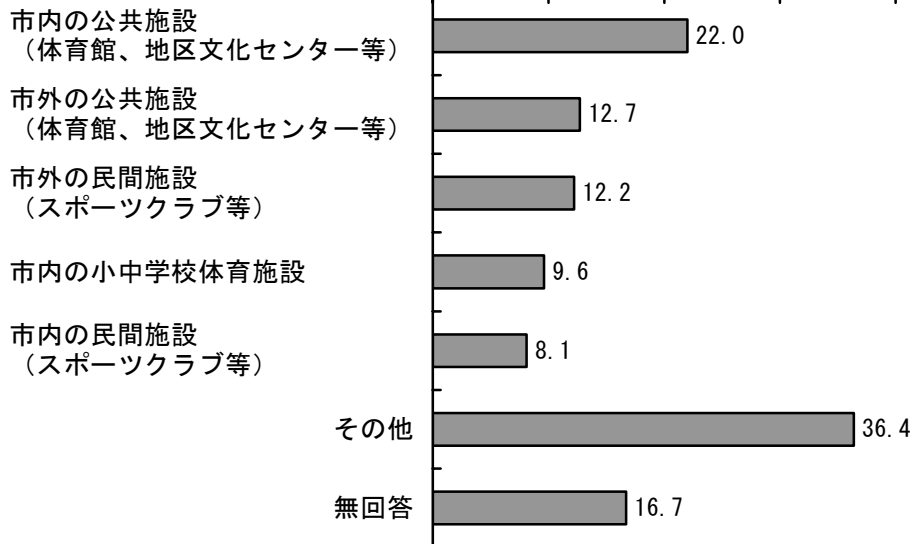
(2) 活動場所

「市内の公共施設」が22.0%

問10-1 スポーツやレクリエーション活動をどこで行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

回答者総数=418人

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 (単位：%)

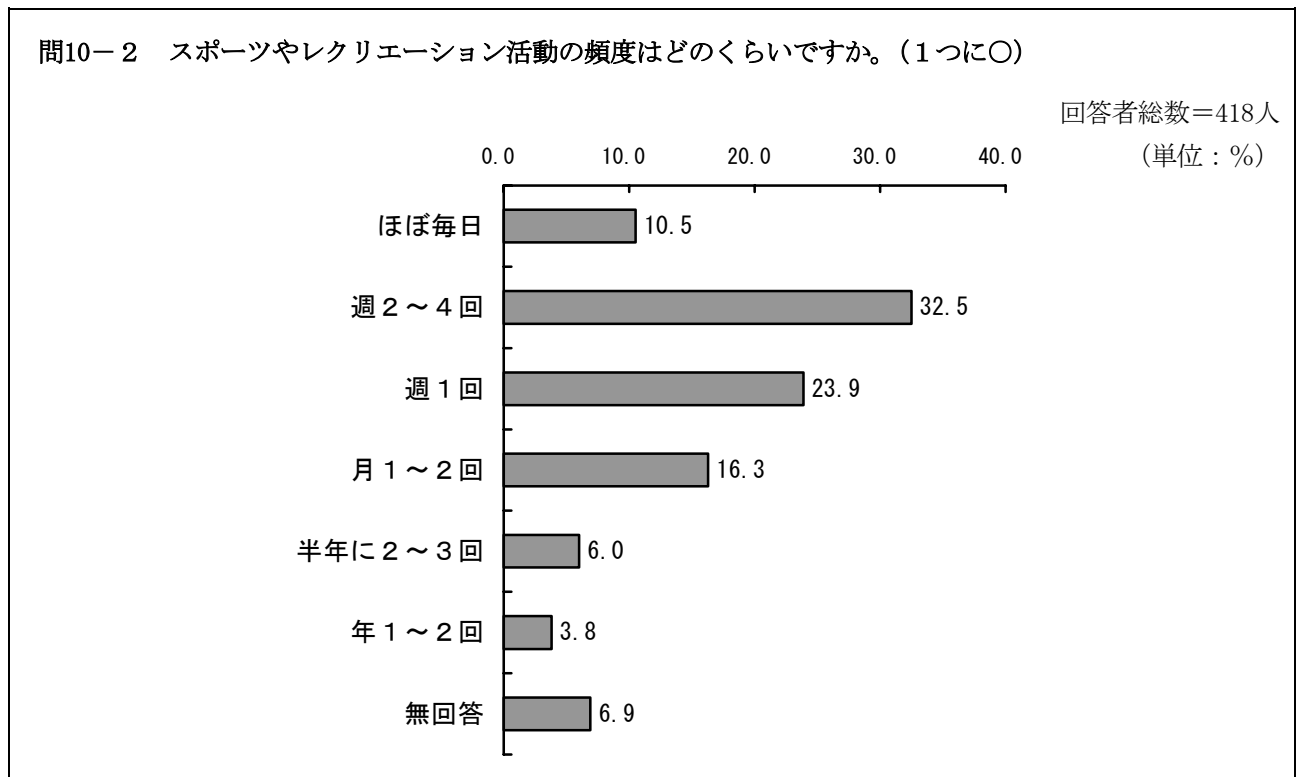


問10でスポーツ・レクリエーション活動を行っているとは回答したかたに、活動場所をたずねました。その結果、「市内の公共施設 (体育館、地区文化センター等)」が22.0%で多くなっています。

また、「その他」という回答は36.4%あり、その内容をみると、「家の周りの道路」や「土手、河川敷」、「公園」などの記入がありました。

(3) 活動頻度

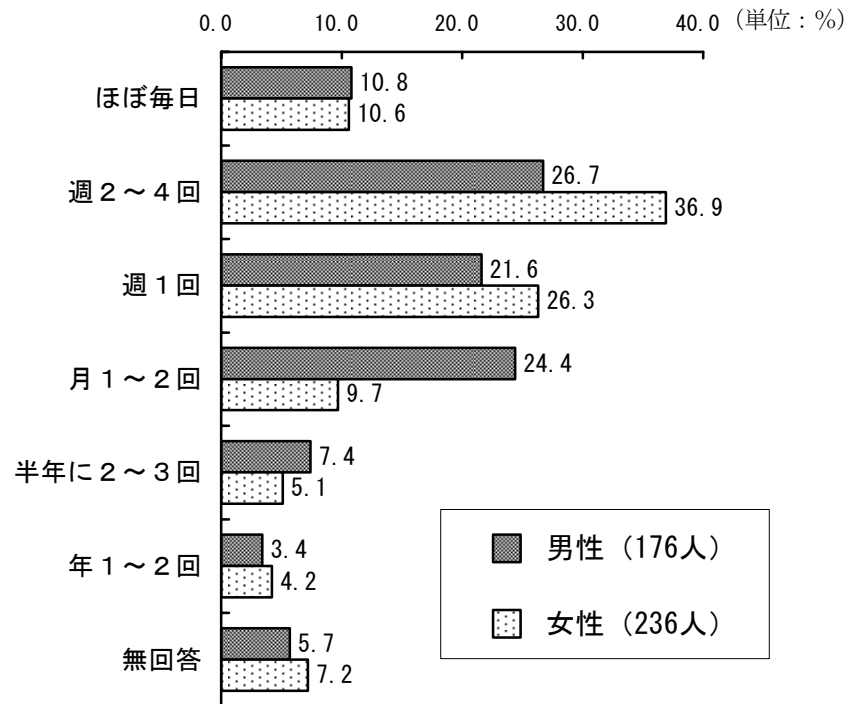
「週2～4回」が32.5%が多い



問10でスポーツ・レクリエーション活動を行っているとは回答したかたに、スポーツやレクリエーション活動の頻度についてたずねました。その結果、「ほぼ毎日」が10.5%、「週2～4回」が32.5%、「週1回」が23.9%となっています。これらを合わせると、「週1回以上活動している人」が66.9%で約7割を占めています。

性別にみると、男性女性ともに「週2～4回」という割合が最も多くなっていますが、男性は26.7%であるのに対して、女性は36.9%となっており、男性より約10ポイント多くなっています、また、女性では「月1～2回」という割合が9.7%であるのに対して、男性では24.4%と約15ポイント多くなっています。

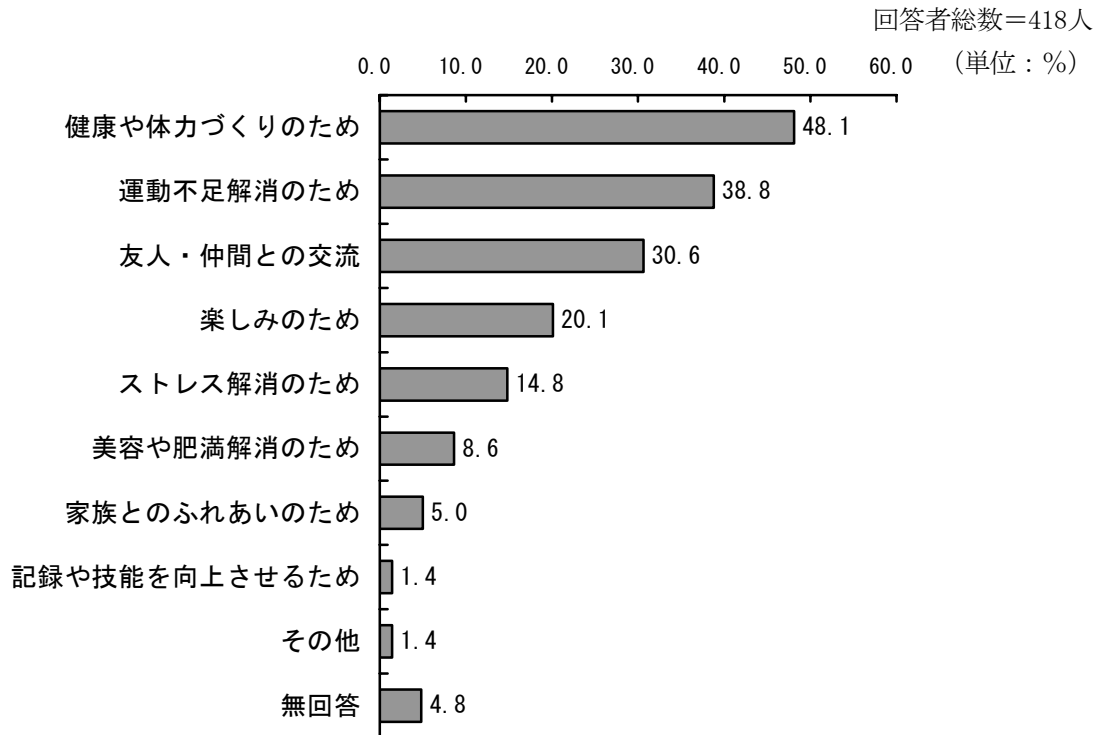
【性別】



(4) 活動の目的

「健康や体力づくりのため」が48.1%で最も多い

問10-3 スポーツやレクリエーション活動を行っている目的は何ですか。(2つ以内で○)



問10でスポーツ・レクリエーション活動を行っていると回答したかたに、活動を行っている目的をたずねました。その結果、「健康や体力づくりのため」が48.1%で最も多く、次いで「運動不足解消のため」が38.8%、「友人・仲間との交流」が30.6%となっています。

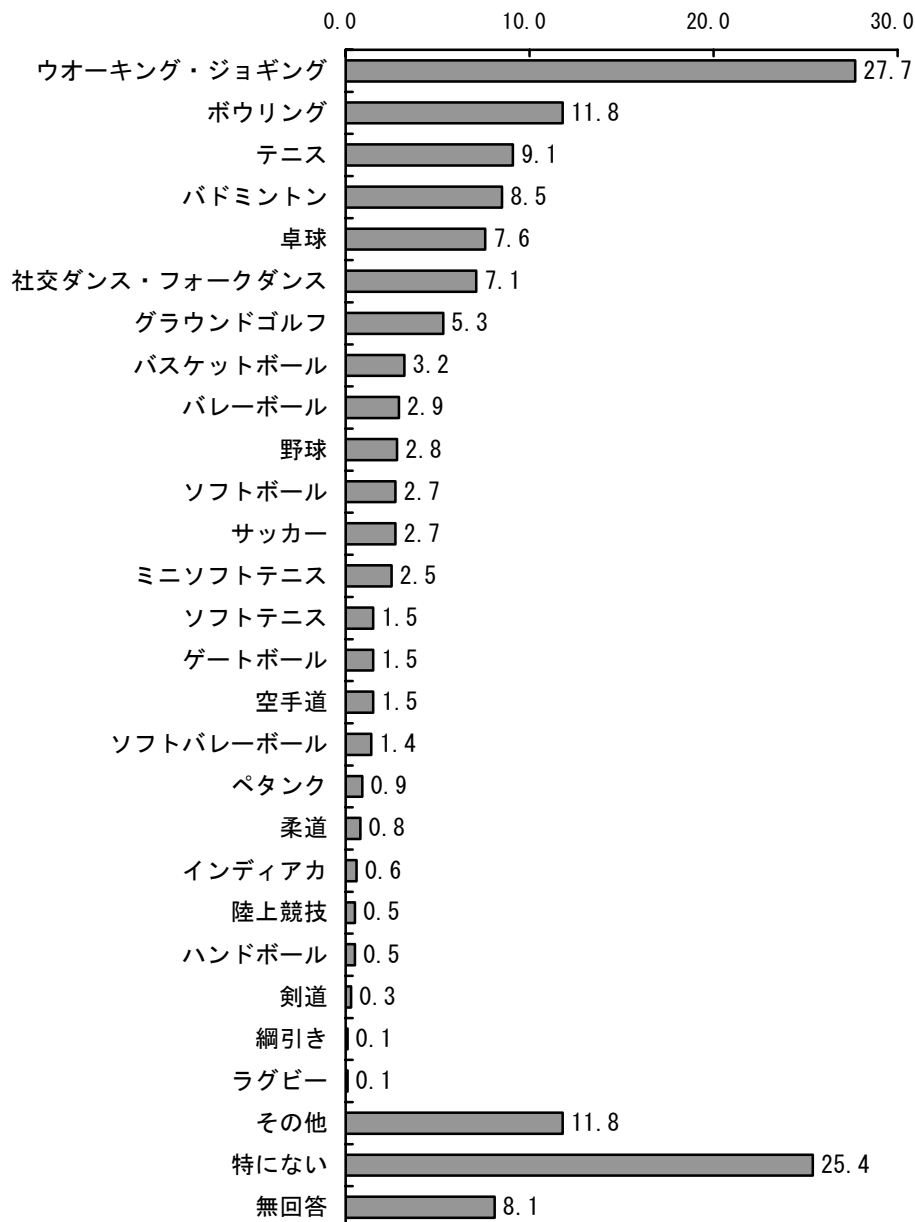
(5) 今後行ってみたいスポーツ・レクリエーション活動

「ウォーキング・ジョギング」が27.7%で最も多い

問11 今後やってみたいと思うスポーツやレクリエーション活動は何ですか。(3つ以内で○)

回答者総数=790人

(単位：%)



今後やってみたいと思うスポーツやレクリエーション活動をたずねたところ、「ウォーキング・ジョギング」が27.7%で最も多く、次いで「ボウリング」が11.8%となっています。

また、「特にない」(25.4%)と「無回答」(8.1%)を除いた66.5%は、何らかのスポーツ・レクリエーション活動をやってみようとしています。

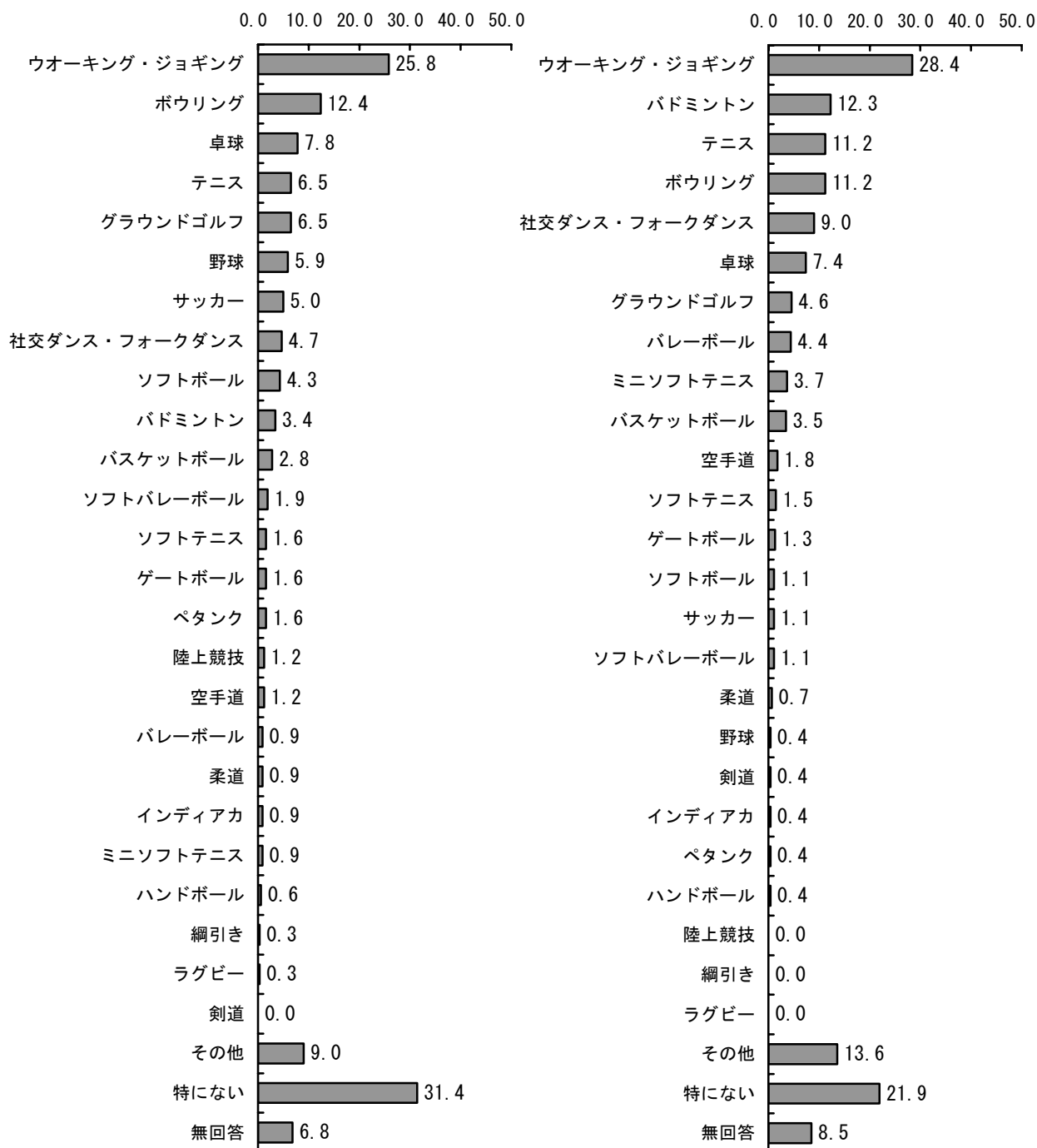
性別にみると、男性女性ともに「ウォーキング・ジョギング」が最も多くなっています。また、男性では、「ボウリング」、「卓球」、「テニス」、「グラウンドゴルフ」と続いているのに対して、女性では「バドミントン」、「テニス」、「ボウリング」、「社交ダンス・フォークダンス」と続いており、性別で違いがみられます。

【性別】

(単位：%)

《 男性 (322人) 》

《 女性 (457人) 》



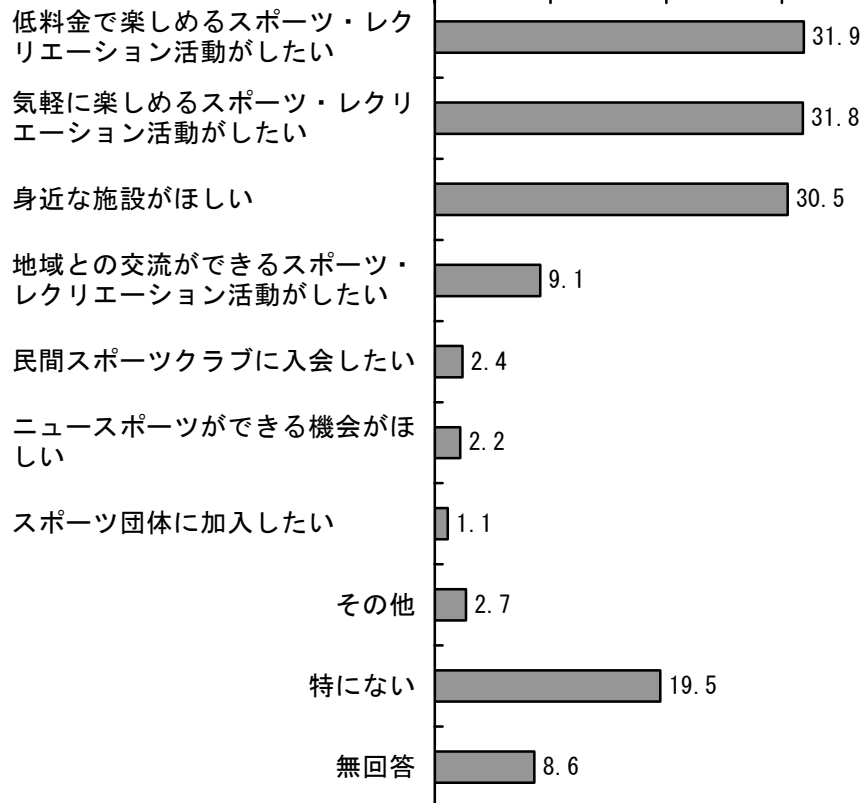
(6) 活動を行う上で望むこと

「低料金で」、「気軽に」、「身近な施設」が多い

問12 今後、スポーツやレクリエーション活動を行う上で望むことは何ですか。(2つ以内で○)

回答者総数=790人

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 (単位：%)



今後、スポーツやレクリエーション活動を行う上で望むことをたずねたところ、「低料金で楽しめるスポーツ・レクリエーション活動がしたい」が31.9%で最も多く、次いで「気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーション活動がしたい」が31.8%、「身近な施設がほしい」が30.5%となっています。

5. 公立学校の適正規模、学校選択制について

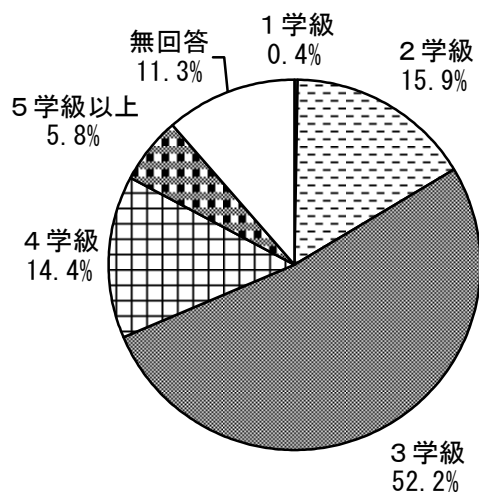
(1) 適正な学級数

小学校では「3学級」が52.2%、中学校でも「3学級」が32.9%

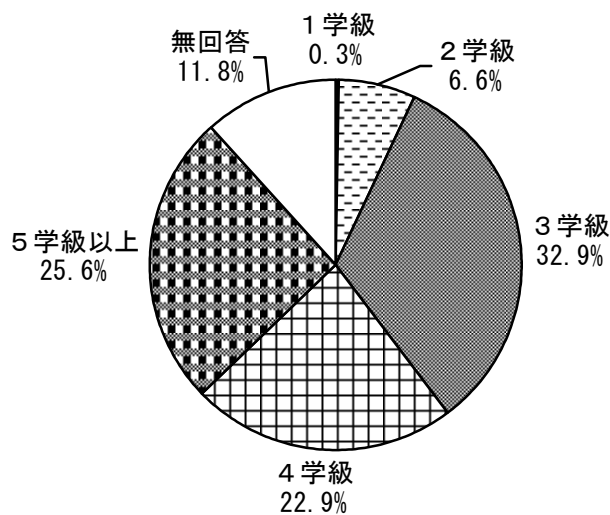
問13 現在、少子化の影響などにより、小中学校の学級数が減少しています。あなたは、1学年の学級数はどのくらいが良いと思いますか。(それぞれ1つに○)

回答者総数=790人

ア. 小学校では



イ. 中学校では



小中学校の1学年の学級数はどのくらいが良いと思うかをたずねたところ、小学校では、「3学級」が52.2%で過半数を占めています。中学校では、「3学級」が32.9%で最も多く、次いで「5学級以上」が25.6%でした。また、小・中学校ともに「1学級」は1%以下となっています。

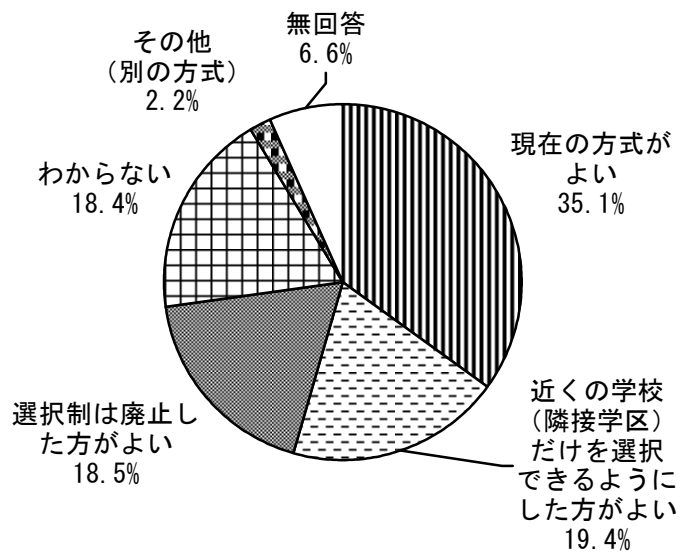
(2) 学校選択制に対する考え方

「現在の方式がよい」が35.1%

問14 三郷市では、小中学校とも学校選択制を導入しています。市内のどの学校でも選択できることについてどのようにお考えですか。(1つに○)

※「三郷市の学校選択制」：学校規模（収容人数）の範囲内で、学区に関係なく市内のどこの学校への入学も希望できる。

回答者総数=790人



学校選択制についてどのように思うかをたずねたところ、「現在の方式がよい」が35.1%で最も多くなっています。また、「近くの学校(隣接学区)だけを選択できるようにした方がよい」が19.4%、「選択制は廃止した方がよい」が18.5%となっています。

6. 市民と行政による協働のまちづくりについて

※「協働」：市民と行政が互いに同じ目的意識を持ち、対等な立場で協力し、目的達成に向けて取り組んでいくこと

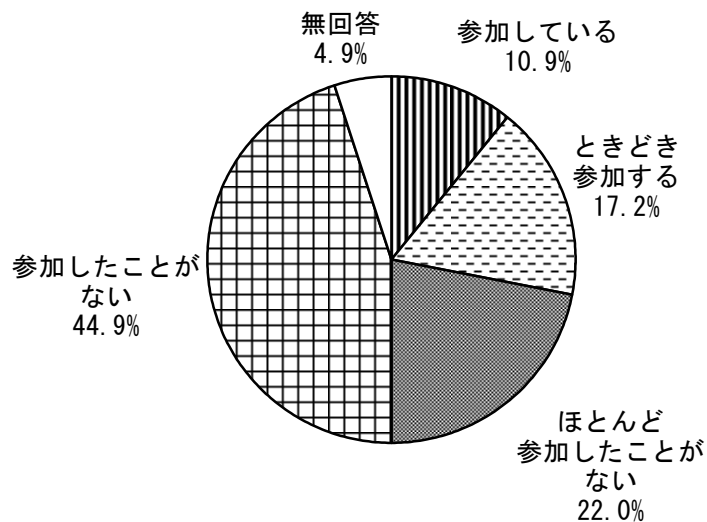
(1) 市民活動・ボランティア活動への参加状況

“参加している人”は約3割

問15 あなたは、市民活動やボランティア活動に参加していますか。(1つに○)

※市民活動は、政治・宗教・営利を目的としない公益性を有した市民の自発的な活動とします。

回答者総数=790人

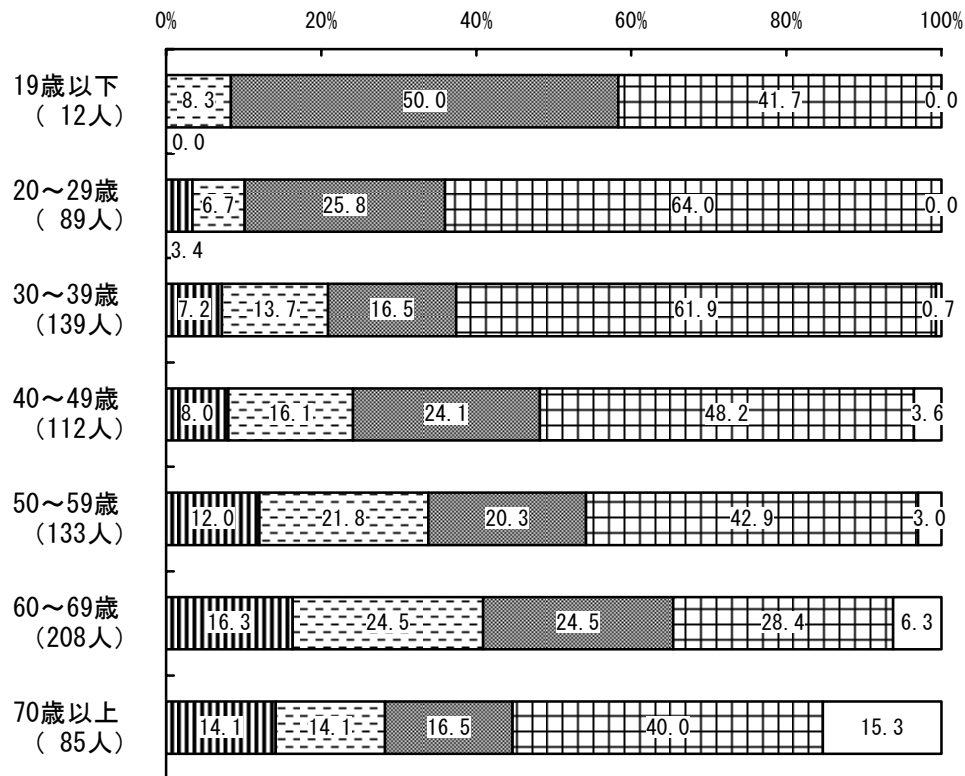


市民活動やボランティア活動に参加しているかをたずねたところ、「参加している」が10.9%、「ときどき参加する」が17.2%となっており、これらを合わせると、“参加している人”は28.1%で約3割となっています。一方、「ほとんど参加したことがない」は22.0%、「参加したことがない」は44.9%で、これらを合わせると“参加していない人”は66.9%で約7割を占めています。

年齢別にみると、年代が上がるのにしたがって“参加している人”の割合が多くなる傾向がみられ、60～69歳では約4割を占めています。しかし、70歳以上になると“参加している人”の割合は約3割にまで減少しています。また、20～29歳と30～39歳では「参加したことがない」の割合が多く、約6割を占めています。

【年齢別】

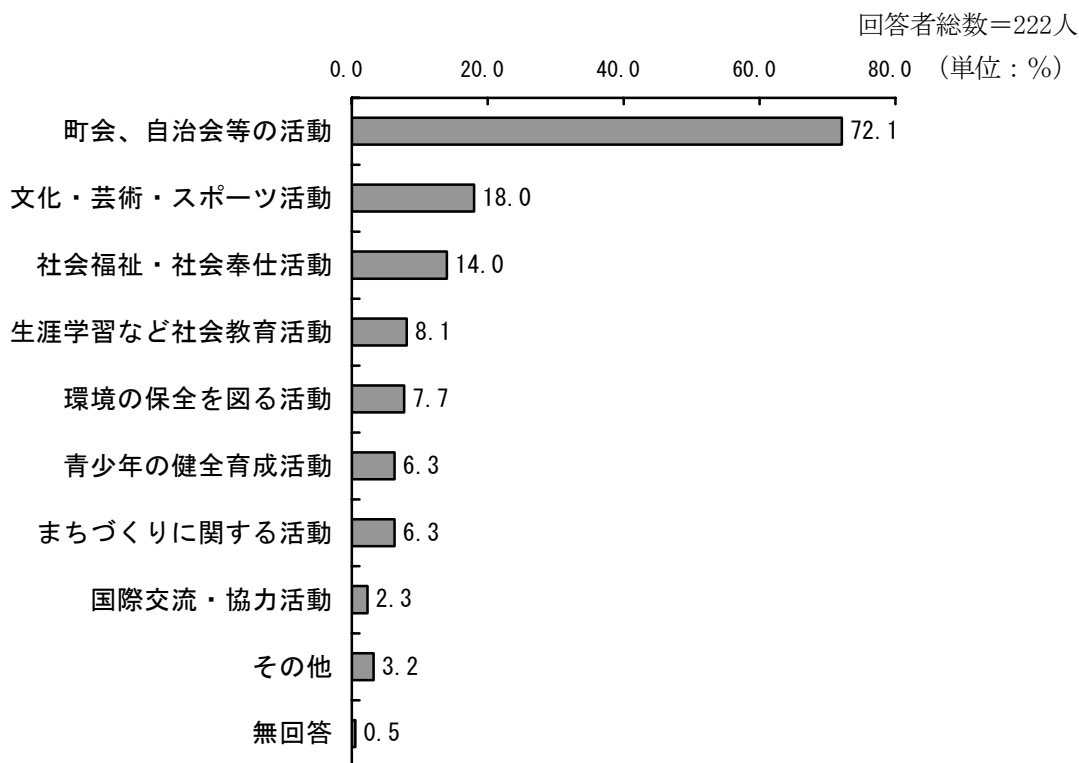
- 参加している □■ ときどき参加する
 ■■■■ ほとんど参加したことがない □■ 参加したことがない
 □ 無回答



(2) 参加内容

「町会、自治会等の活動」が72.1%で圧倒的に多い

問15-1 あなたが参加されている活動はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)



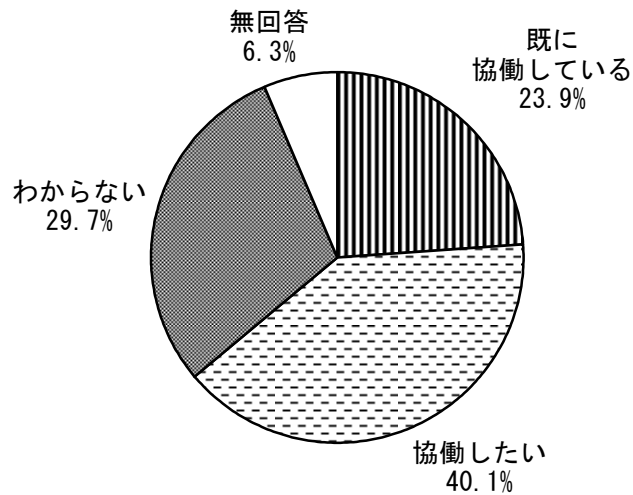
問15で「参加している」または「ときどき参加する」と回答したかたに、参加している活動内容についてたずねました。その結果、「町会、自治会等の活動」が72.1%で圧倒的に多く、次いで、「文化・芸術・スポーツ活動」が18.0%、「社会福祉・社会奉仕活動」が14.0%となっています。

(3) 協働に対する意向

「協働したい」が40.1%

問15-2 現在、参加している活動について、今後、市民と行政と協働で活動したいと思いますか。
(1つに○)

回答者総数=222人

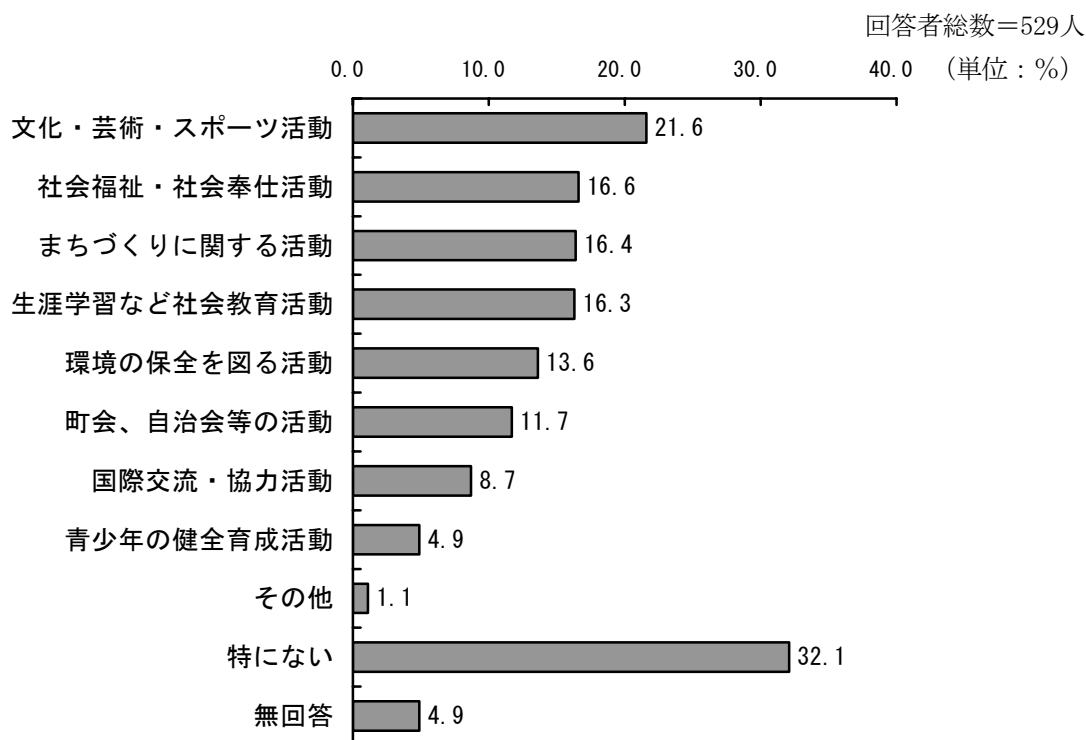


問15で「参加している」または「ときどき参加する」と回答したかたに、現在参加している活動について、今後、市民と行政と協働で活動したいと思うかについてたずねました。その結果、「既に協働している」が23.9%、「協働したい」が40.1%となっています。

(4) 参加したい活動や関心のある活動

「文化・芸術・スポーツ活動」が21.6%で最も多い

問15-3 あなたが今後参加したい活動や関心のある活動はどのようなものですか。
(あてはまるものすべてに○)



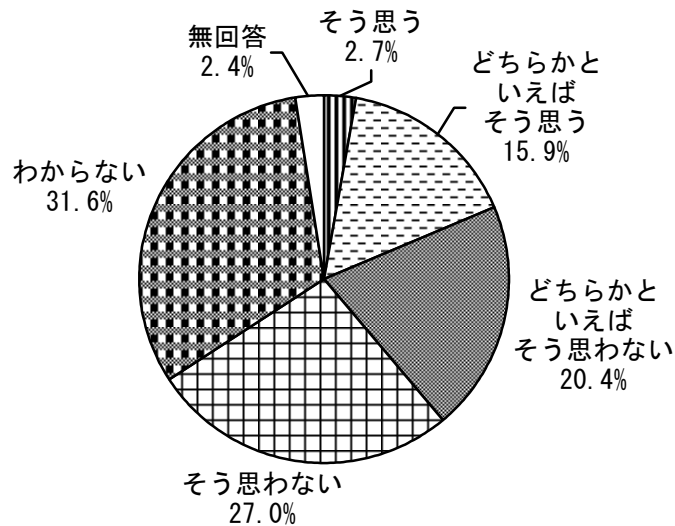
問10で「ほとんど参加したことがない」または「参加したことがない」と回答したかたに、今後参加したい活動や関心のある活動をたずねました。その結果、「文化・芸術・スポーツ活動」が21.6%で最も多く、次いで「社会福祉・社会奉仕活動」が16.6%、「まちづくりに関する活動」が16.4%、「生涯学習など社会教育活動」が16.3%となっています。

(5) 協働のまちづくりに対する評価

“協働のまちづくりが進んでいない”は約半数

問16 三郷市において、市民と行政による協働のまちづくりが進んでいると思いますか。(1つに○)

回答者総数=790人



三郷市において、市民と行政による協働のまちづくりが進んでいると思うかをたずねたところ、「そう思う」が2.7%、「どちらかといえばそう思う」が15.9%となっており、これらを合わせると18.6%が“協働のまちづくりが進んでいる”としています。一方、「どちらかといえばそう思わない」は20.4%、「そう思わない」は27.0%で、これらを合わせると47.4%が“協働のまちづくりが進んでいない”としており、約半数を占めています。

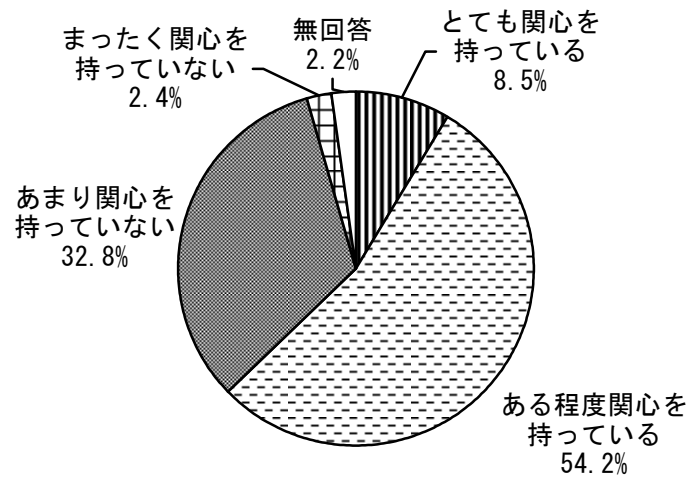
また、「わからない」が31.6%となっています。

(6) 市政やまちづくりに対する関心度

関心があるかたが約6割

問17 あなたは、市政やまちづくりについて、どの程度関心をお持ちですか。(1つに○)

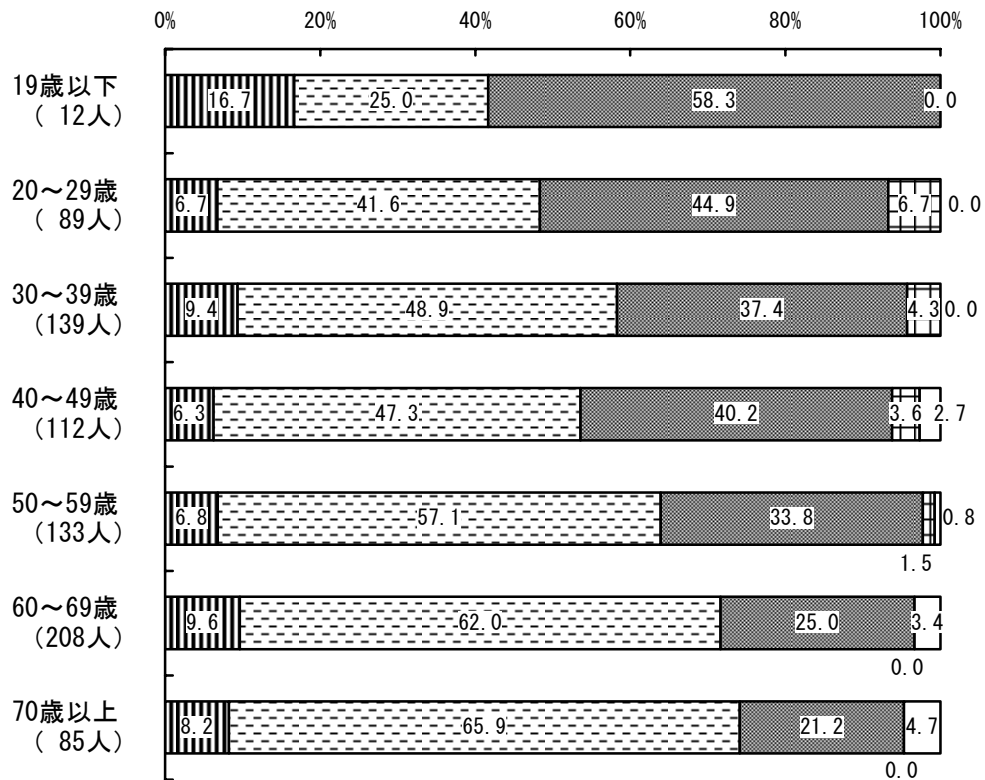
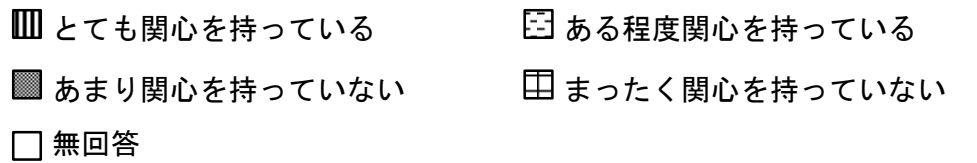
回答者総数=790人



市政やまちづくりに対してどの程度関心があるかをたずねたところ、「とても関心を持っている」が8.5%、「ある程度関心を持っている」が54.2%となっており、これらを合わせると、関心があるかたは62.7%となっています。一方、「あまり関心を持っていない」は32.8%、「まったく関心を持っていない」は2.4%で、これらを合わせると、関心がないかたが35.2%となっています。

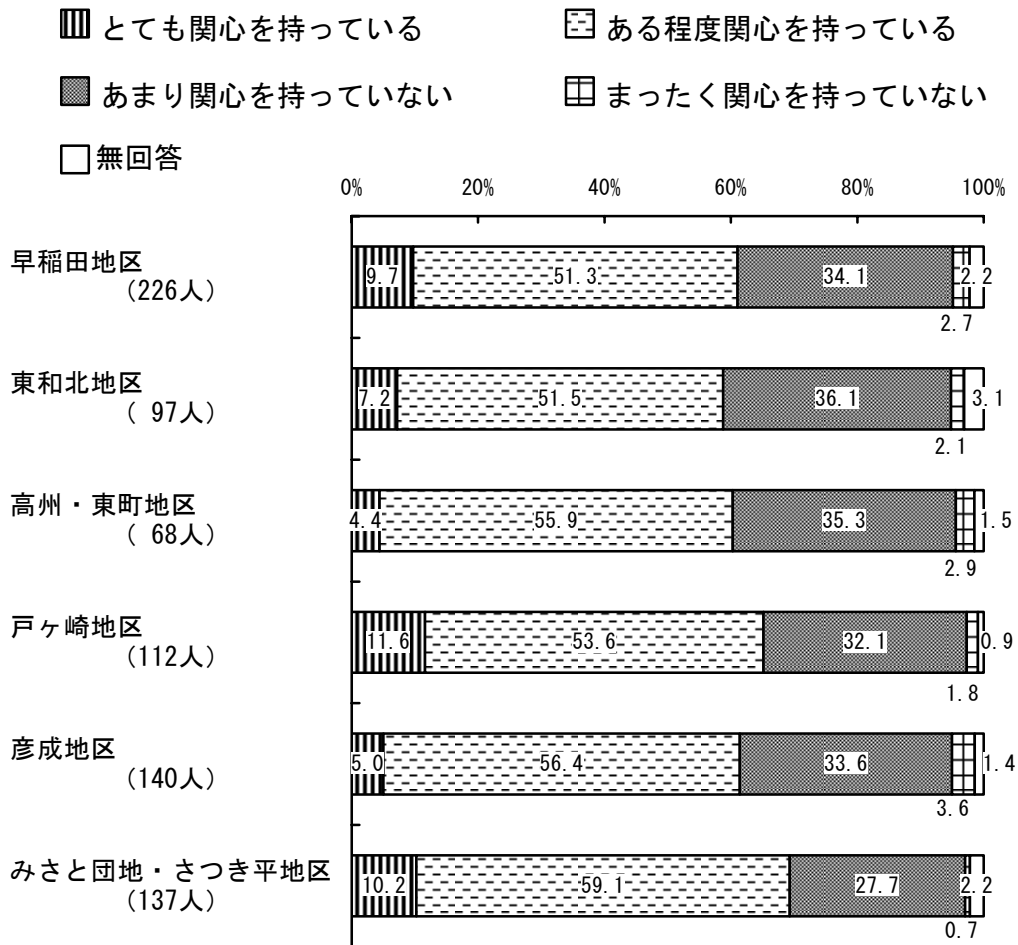
年齢別にみると、19歳以下では、「とても関心を持っている」が16.7%で他の年代より多くなっていますが、「あまり関心を持っていない」も58.3%で多くなっています。また、20～29歳より上の年代では、年齢が上がるのにしたがって関心があるかたの割合が多くなる傾向がみられ、70歳以上では7割を超えています。

【年齢別】



地区別にみると、戸ヶ崎地区とみさと団地・さつき平地区では「とても関心を持っている」が1割を超えています。また、みさと団地・さつき平地区では「ある程度関心を持っている」が59.1%で他の地区より多くなっています。

【地区別】



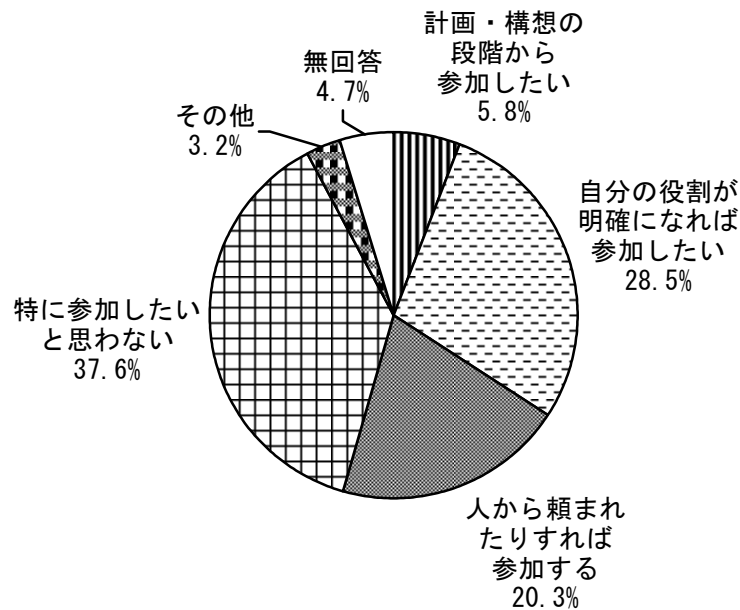
(7) まちづくりへの参加意向

「役割が明確になれば」は28.5%、「人から頼まれたりすれば」は20.3%

問18 あなたは、市が行うまちづくりに参加したいと思いますか。(1つに○)

※「参加」：行政が主体となって取り組んでいることに対して、市民が意見を述べ、提案すること。

回答者総数=790人

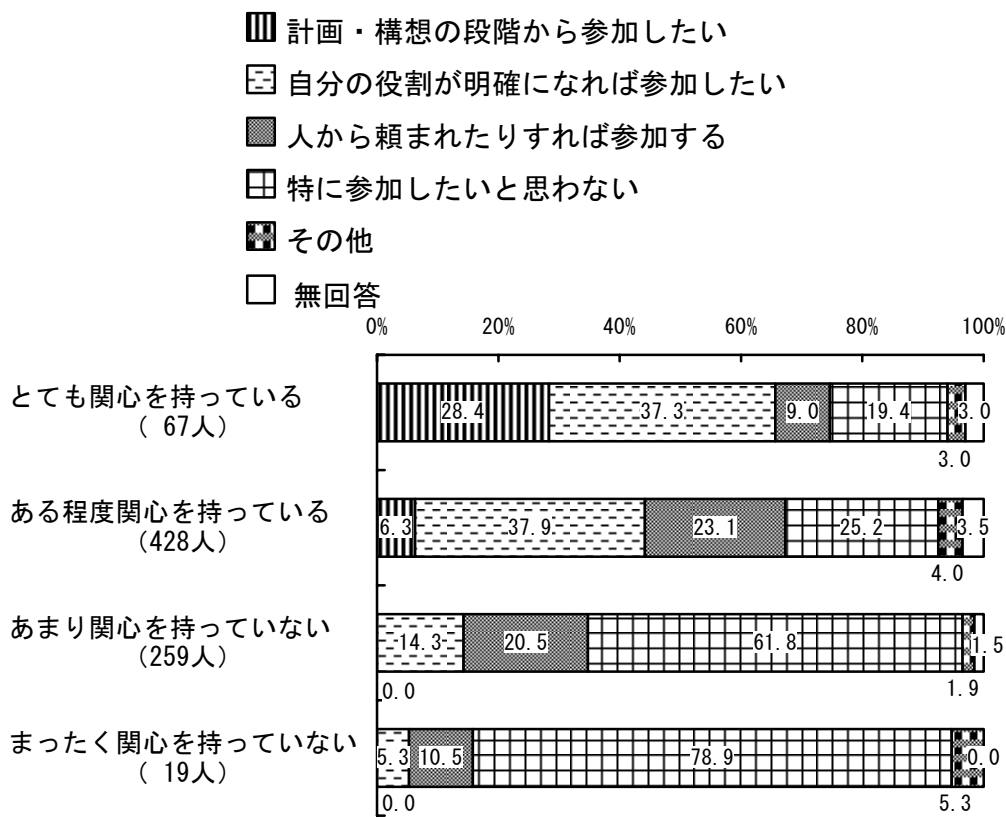


市が行うまちづくりに参加したいと思うかについてたずねたところ、「計画・構想の段階から参加したい」は5.8%にとどまっています。また、「自分の役割が明確になれば参加したい」は28.5%、「人から頼まれたりすれば参加する」は20.3%となっています。

一方、「特に参加したいと思わない」は37.6%で約4割を占めています。

問18の市政やまちづくりに対する関心度別にみると、『とても関心を持っている』では「計画・構想の段階から参加したい」が28.4%で約3割を占めています。また、『とても関心を持っている』と『ある程度関心を持っている』では、「自分の役割が明確になれば参加したい」がそれぞれ約4割となっています。一方、「特に参加したいと思わない」の割合は、『あまり関心を持っていない』では約6割、『まったく関心を持っていない』では約8割となっており、関心が低い層では参加意向も低くなっています。

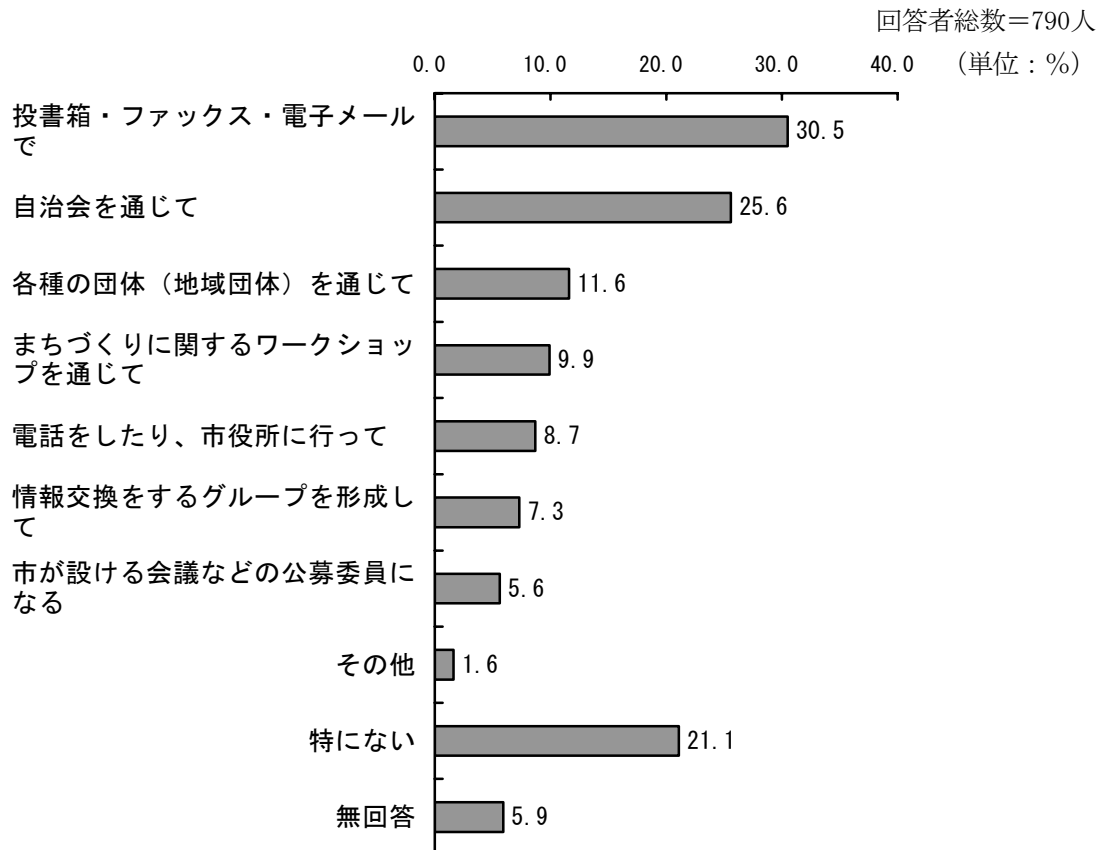
【市政やまちづくりに対する関心度別】



(8) まちづくりについての今後のかかわり方

「投書箱・ファックス・電子メールで」が30.5%で最も多い

問19 あなたはまちづくりについて、今後どのような方法で意見や要望を伝えたり、活動に参加したりしたいと思いますか。(2つ以内で○)



※「ワークショップ」：講義などの一方的な知識伝達のスタイルではなく、参加者が自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で何かを学びあったり創り出したりすること。

まちづくりについて、今後どのような方法で意見や要望を伝えたり、活動に参加したりしたいと思うかについてたずねたところ、「投書箱・ファックス・電子メールで」が30.5%で最も多くなっています。次いで、「自治会を通じて」が25.6%、「各種の団体（地域団体）を通じて」が11.6%となっています。

一方、「特にない」は21.1%となっています。

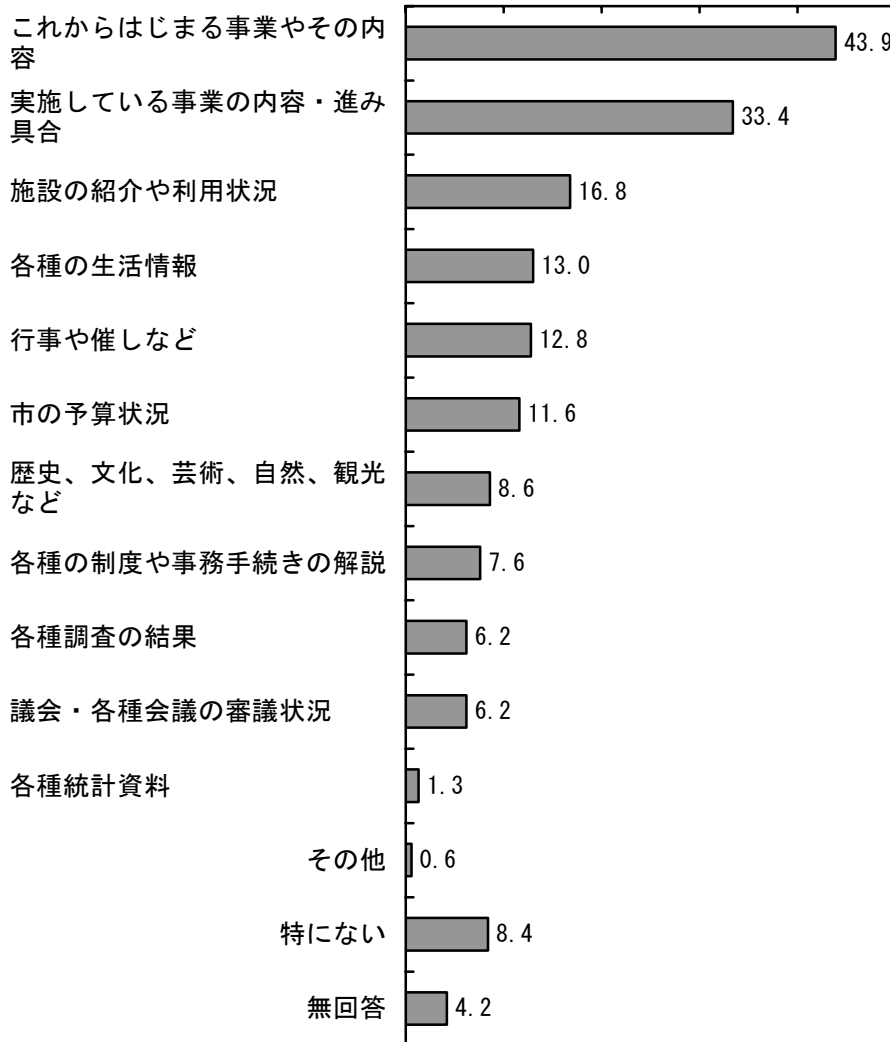
(9) まちづくりに参加するために必要な情報・知識

「これからはじまる事業やその内容」が43.9%で最も多い

問20 まちづくりに参加するためには、あらかじめ市についての情報・知識が必要だと思われるが、あなたは、三郷市についてどのようなことが知りたいですか。(2つ以内で○)

回答者総数=790人

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 (単位：%)

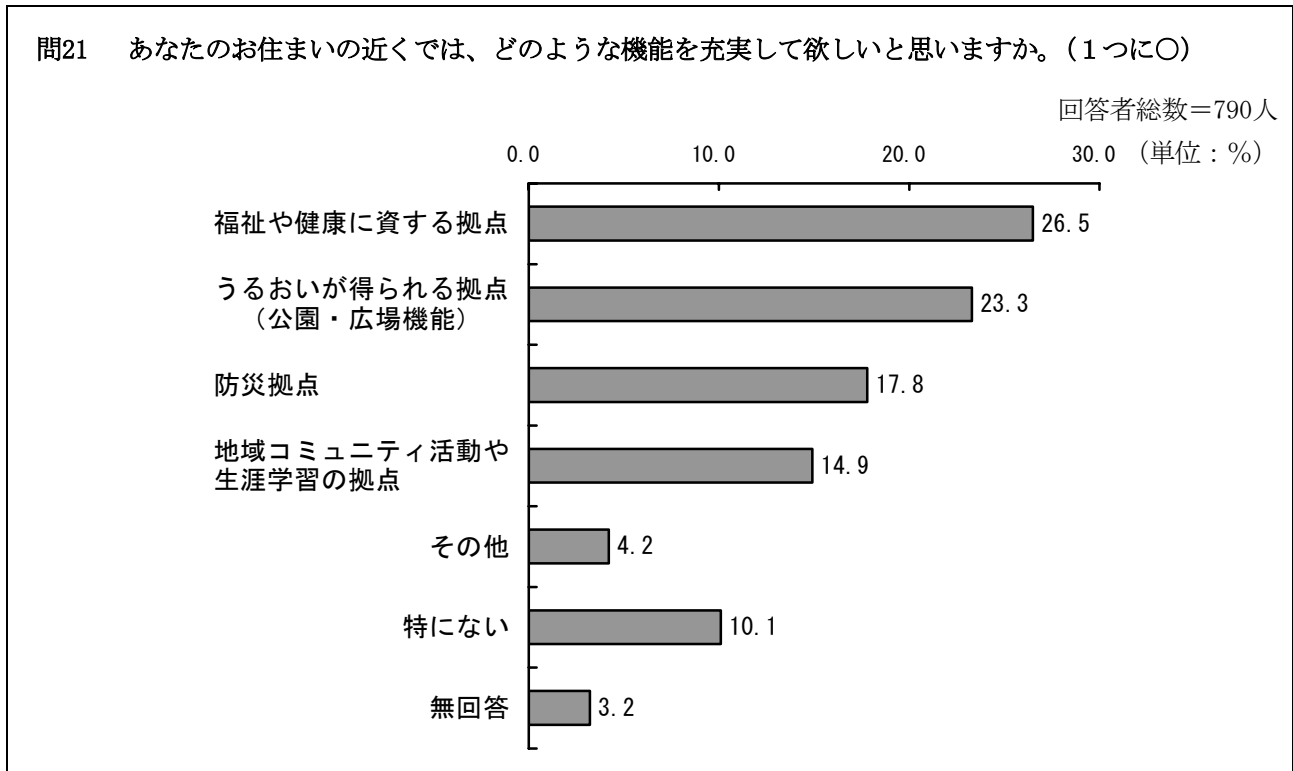


まちづくりに参加するために、三郷市についてどのようなことが知りたいかをたずねたところ、「これからはじまる事業やその内容」が43.9%で最も多くなっています。次いで、「実施している事業の内容・進み具合」が33.4%、「施設の紹介や利用状況」が16.8%となっています。

7. 公共施設について

(1) 充実して欲しい機能

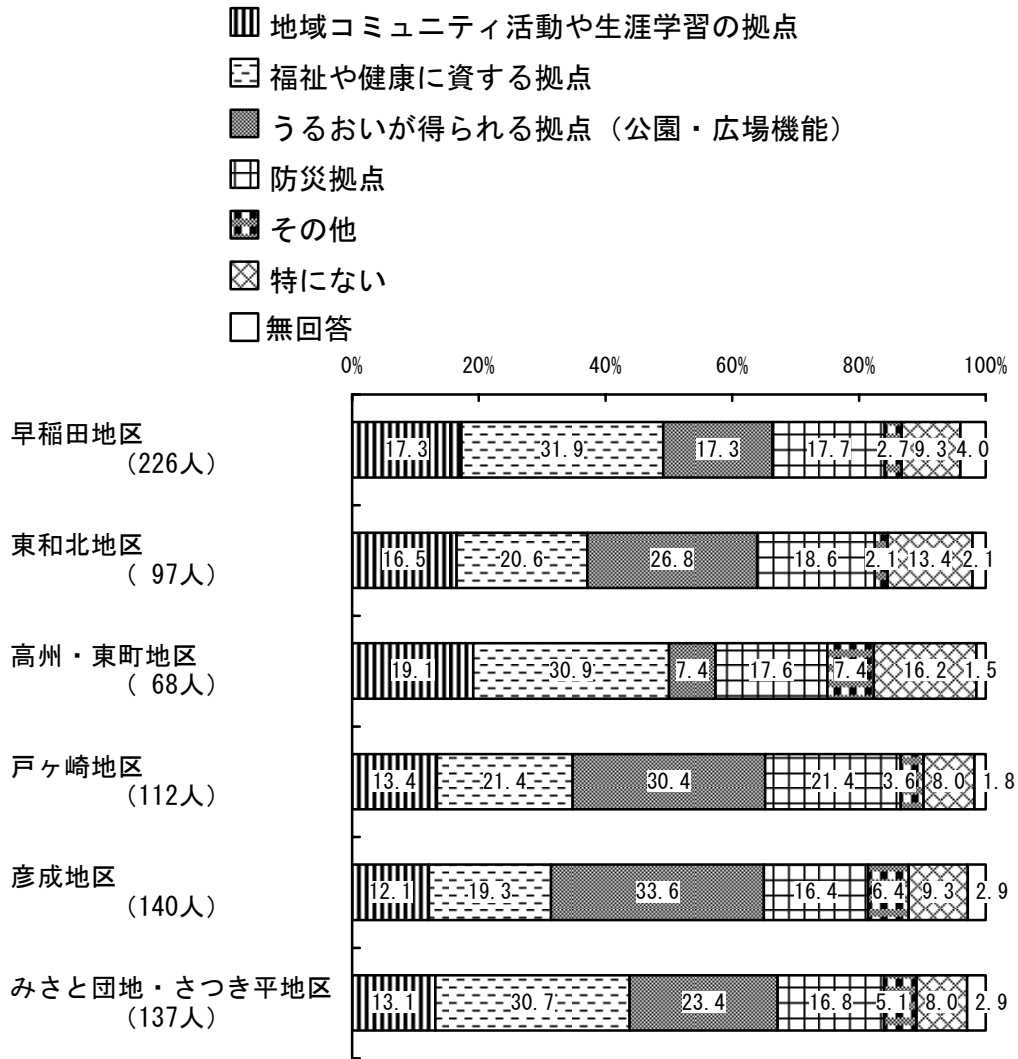
「福祉や健康に資する拠点」が26.5%で最も多い



住まいの近くで、どのような機能を充実して欲しいと思うかをたずねたところ、「福祉や健康に資する拠点」が26.5%で最も多くなっています。次いで「うるおいが得られる拠点（公園・広場機能）」が23.3%、「防災拠点」が17.8%となっています。

地区別にみると、早稲田地区や高州・東町地区、みさと団地・さつき平地区では「福祉や健康に資する拠点」が約3割で多くなっています。また、戸ヶ崎地区と彦成地区では「うるおいが得られる拠点（公園・広場機能）」が約3割で多くなっています。

【地区別】



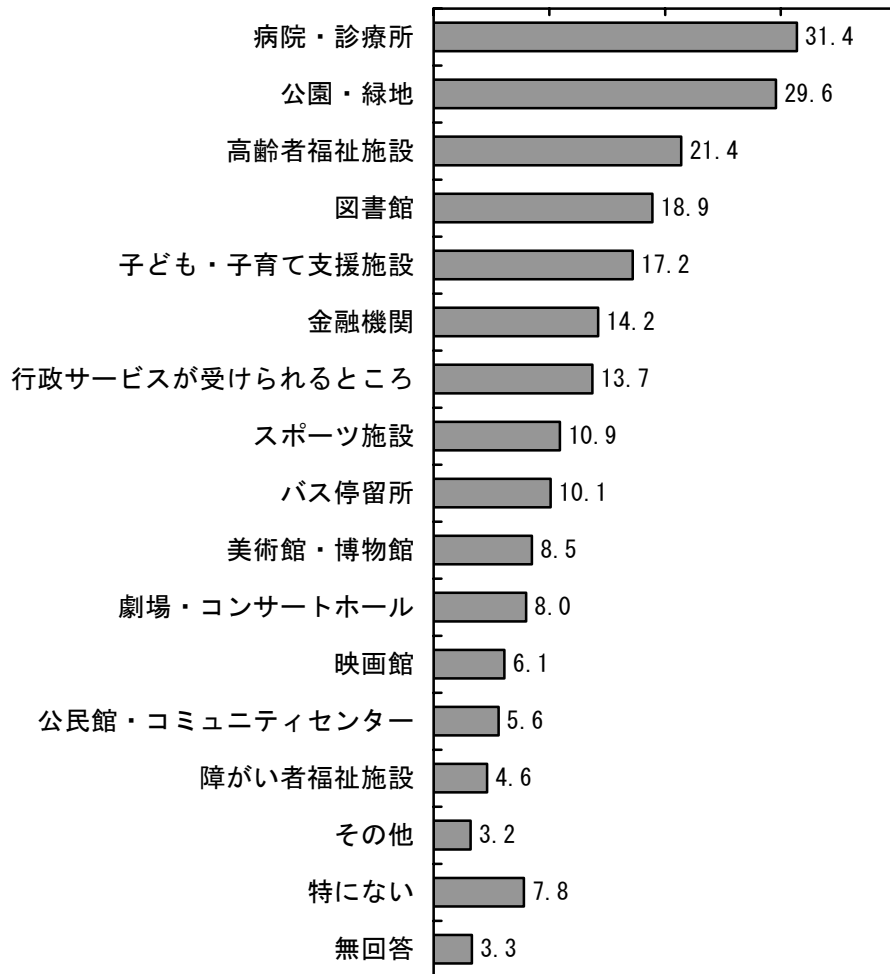
(2) 充実して欲しい公共施設

「病院・診療所」が31.4%で最も多い

問22 あなたの住まいの近くでは、どのような公共施設を充実して欲しいと思いますか。(3つ以内で○)

回答者総数=790人

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 (単位：%)



住まいの近くで、どのような公共施設を充実して欲しいと思うかをたずねたところ、「病院・診療所」が31.4%で最も多くなっています。次いで、「公園・緑地」が29.6%、「高齢者福祉施設」が21.4%となっています。

年齢別に上位5項目をみると、19歳以下では「図書館」と「病院・診療所」が同率で第1位となっており、20～29歳では「子ども・子育て支援施設」が第1位になっています。30～39歳、40～49歳、50～59歳では、「病院・診療所」と「公園・緑地」が第1位と第2位を占めています。さらに、60～69歳と70歳以上では、「高齢者福祉施設」が第1位となっています。

【年齢別 上位5位表】

区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
19歳以下 (12人)	図書館／病院・診療所		映画館／スポーツ施設		金融機関／公園・緑地／バス停留所／行政サービスが受けられるところ
	41.7%		33.3%		16.7%
20～29歳 (89人)	子ども・子育て支援施設	病院・診療所	公園・緑地	図書館	金融機関／スポーツ施設／行政サービスが受けられるところ
	36.0%	32.6%	29.2%	24.7%	23.6%
30～39歳 (139人)	病院・診療所	公園・緑地	子ども・子育て支援施設	図書館	金融機関
	37.4%	33.1%	32.4%	23.0%	20.9%
40～49歳 (112人)	公園・緑地	病院・診療所	図書館	高齢者福祉施設	子ども・子育て支援施設
	32.1%	30.4%	17.9%	16.1%	15.2%
50～59歳 (133人)	病院・診療所	公園・緑地	高齢者福祉施設	図書館	金融機関／行政サービスが受けられるところ
	33.8%	31.6%	26.3%	15.0%	13.5%
60～69歳 (208人)	高齢者福祉施設	公園・緑地	病院・診療所	図書館	美術館・博物館
	34.1%	27.9%	26.0%	14.9%	13.0%
70歳以上 (85人)	高齢者福祉施設	病院・診療所	公園・緑地	図書館	行政サービスが受けられるところ
	37.6%	30.6%	25.9%	21.2%	18.8%

地区別にみると、早稲田地区や高州・東町地区、みさと団地・さつき平地区では、「病院・診療所」が第1位に、東和北地区や戸ヶ崎地区、彦成地区では「公園・緑地」が第1位になっています。また、東和北地区では「図書館」が第2位に、高州・東町地区では「行政サービスが受けられるところ」が第2位に上がっています。

【地区別 上位5位表】

区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
早稲田地区 (226人)	病院・診療所	高齢者福祉施設	公園・緑地	子ども・子育て支援施設	金融機関
	38.5%	20.8%	20.4%	19.9%	15.5%
東和北地区 (97人)	公園・緑地	図書館	金融機関	高齢者福祉施設	病院・診療所
	38.1%	28.9%	22.7%	21.6%	20.6%
高州・東町地区 (68人)	病院・診療所	行政サービスが受けられるところ	図書館／高齢者福祉施設		子ども・子育て支援施設
	30.9%	27.9%	23.5%		22.1%
戸ヶ崎地区 (112人)	公園・緑地	病院・診療所	高齢者福祉施設	子ども・子育て支援施設	図書館
	36.6%	33.9%	24.1%	21.4%	20.5%
彦成地区 (140人)	公園・緑地	病院・診療所	図書館	子ども・子育て支援施設	高齢者福祉施設
	45.0%	27.9%	16.4%	15.0%	13.6%
みさと団地・ さつき平地区 (137人)	病院・診療所	高齢者福祉施設／公園・緑地		図書館	行政サービスが受けられるところ
	29.9%	27.0%		19.0%	17.5%

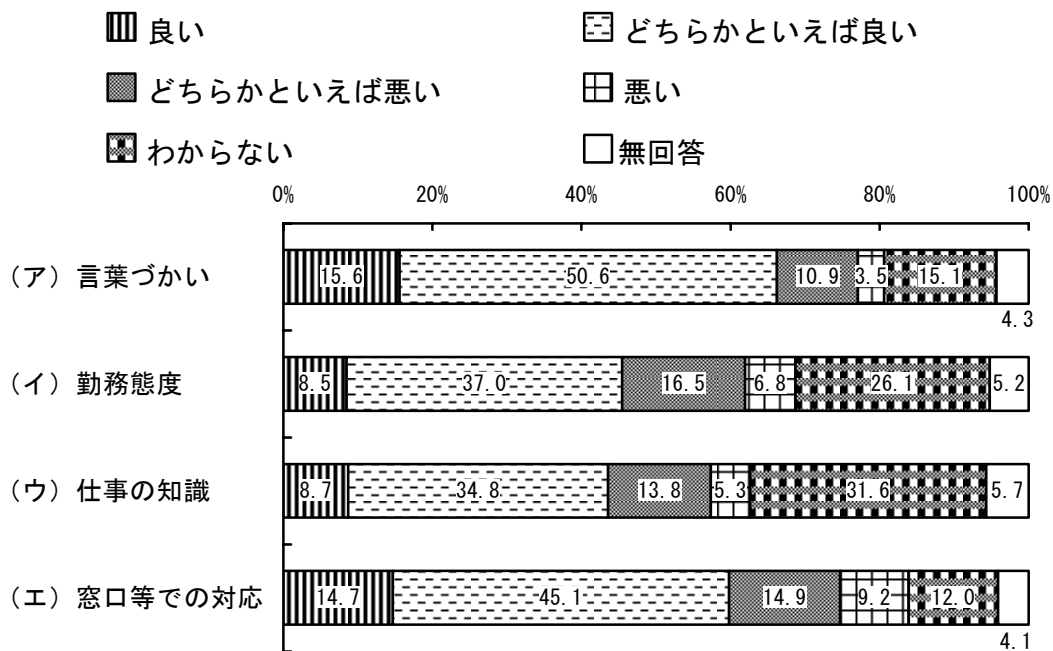
8. 市の職員について

(1) 市職員についての印象

『言葉づかい』や『窓口等での対応』は評価が高い

問23 あなたは、市の職員についてどのような印象をお持ちですか。(ア)～(エ)の各項目ごとにお答えください。(それぞれ1つずつに○)

回答者総数=790人



市の職員に対する印象について、項目ごとにたずねました。その結果、『言葉づかい』や『窓口等での対応』といった項目では、「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた“良いとした人”が6～7割を占めて多くなっています。

市職員についての印象について、平成14年度の調査結果と比較しました。その結果、すべての項目で「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた“良いとした人”の割合が増加しており、職員に対する印象・評価が上がっています。

【時系列】

